

研修のすすめ

アップル歯科クリニック



研修医となる皆さんへ

当院は、私が就任して28年目を迎えました。その間に常勤、非常勤、研修医も含めて診療に従事していただいたドクターが140人を超えました。

また、平成28年の2月8日に野幌駅北口真正面に新装移転開業をし、4月1日からは医療法人社団 真俊会 アップル歯科となりました。そして、隣駅にある高砂歯科も医療法人社団 真俊会 高砂歯科となりました。

歯科医師は26名(常勤10名非常勤16名)その内、研修医指導医が3名在籍しています。

新装移転開業を機に、ユニット6台から14台に増設し研修医にもじっくりと診療していただける体制がより整いました。

また、滅菌専任スタッフも常駐させて、スタンダードプリコーションの概念を基に、より高度な滅菌システムを構築していますので、安心して診療していただけます。

アップル歯科は毎年、前期1人、後期1人と合計2人の研修医を募集しています。

いつでも見学できますし、大学にいる非常勤で勤めているドクター達からもアップル歯科の現状を聞くことができますので、聞いてみてください。

優しいドクターやスタッフたちの中で研修してみませんか？

『アップル歯科 江別』でネット検索していただき、ホームページも是非ご覧ください。

(www.apple-dent.com)

歯科医師として将来に役に立つ技術や高速診療のノウハウなど様々な技術の習得には最適な歯科医院と自負しておりますので、是非ご検討ください。よろしく申し上げます

医療法人社団 真俊会 アップル歯科
理事長 望月俊男

当院の研修はこんな方にお勧めです！

- 診療ができるようになりたい
- 研修時に沢山の患者さんを診たい
- みんなで楽しく仕事をしたい
- いろいろな治療法を見てみたい
- 常勤になりたい
- 大学院にいている間、アルバイトをしたい
- 流行っている歯科医院をみてみたい
- 高速診療を身に着けたい



目 次

研修医となる皆さんへ

アップル歯科 院長 望月 俊男	1
アップル歯科概要	4
交通機関でのアクセス	5
アップル歯科の設備	11
アップル歯科の研修を終えて	
2008年 秋葉 俊輔	27
2009年 奥山 牧人	29
2010年 富田 太郎	32
2010年 松村 馨	32
2011年 猪股 裕子	33
2011年 黒岡 健志	34
2012年 桑原 悠造	35
2013年 成瀬 真智	37
2013年 坂東 智子	38
2013年 福永 康平	40
2013年 町田 友梨	41
2014年 阿部 一博	42
2014年 大崎 晃嗣	43
2014年 河野 通俊	45
2014年 前田 正名	46
2015年 齋藤 秀也	47
2015年 齋藤 大嗣	48
2016年 橋本 里紗	49





2017年	谷 幸憲	50
2017年	中村 那月	50
2017年	丸岡 春日	51
2017年	執行 勇気	53
2017年	葭崎 昭	54
2018年	小木曾 哲	54
2018年	小島 遥乃	55
2018年	善徳 勇貴	56
2018年	辻 綾香	57
2019年	土田 仁	58
2019年	遠山 晏梨	59
2019年	奈邊 祐加	60
2019年	阿部 未来	61
2019年	大澤 杏子	62
2019年	土居 芽吹	63
2020年	石川奈津子	64
2020年	松田 捺美	65
2020年	小石 桃子	66
2021年	トゥアソンさら	67
2021年	久恒 悠明	68
2021年	齊藤祐太郎	69
2021年	中村 倖大	70
2021年	田村 千景	71
2022年	西倉 一矢	71



アップル歯科 概要



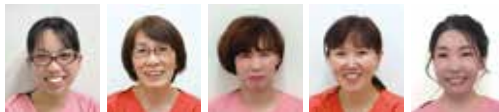
Doctors



Dental Hygienists



Dental Assistants



受付スタッフ



モチモチ
デンタルラボ
(院内技工士)
スタッフ



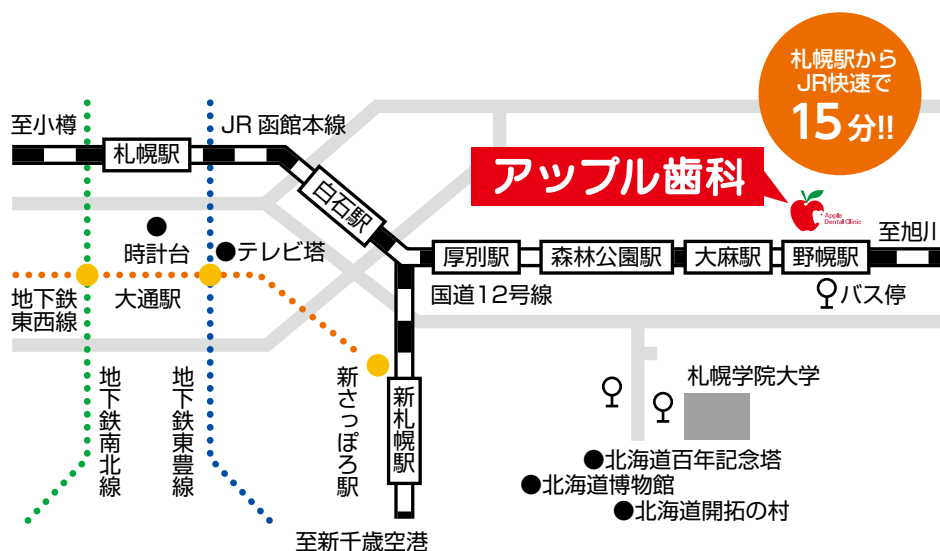
滅菌専任
スタッフ



清掃スタッフ



交通機関でのアクセス



通勤に便利!

江別市野幌町 50 - 37

札幌駅から快速 JR で 15 分

野幌駅北口真正面から 75m (走って 10 秒!)

車通勤可 (24 台駐車場完備)

■所在地

アップル歯科 江別市野幌町 50-20

■連絡先

TEL011 - 385 - 8822 (望月まで)

■勤務時間

平日 10:00 ~ 12:30 14:00 ~ 20:00

土日 10:00 ~ 12:30 14:00 ~ 17:00

■休診日

祝祭日、お盆休み(8月14日~16日)

年末年始(12月30日~1月3日)

完全週休2日制

■過去の研修医たち(44人)

2008年	秋葉 俊輔	1,090件
2009年	奥山 牧人	1,085件
	う・ひょう	1,149件
2010年	富田 太郎	500件
	松村 馨	930件
2011年	黒岡 建志	1,157件
	五十嵐裕子	1,117件
2012年	桑原 悠造	1,222件
2013年	町田 友梨	419件
	坂東 智子	888件
	成瀬 真智	765件
	福永 康平	765件
2014年	前田 正名	557件
	河野 通俊	487件
	阿部 一博	512件
	大崎 晃嗣	402件
2015年	齋藤 秀也	1002件
	齋藤 大嗣	398件
2016年	橋本 里沙	362件
2017年	中村 那月	761件
	谷 幸憲	574件
	執行 勇気	167件
	丸岡 春日	674件

	蓑先 昭	189件
2018年	小島 遥乃	479件
	小木曾 哲	414件
	善徳 勇貴	400件
	辻 綾香	324件
2019年	土田 仁	559件
	遠山 晏梨	595件
	奈邊 祐加	512件
	阿部 未来	945件
	大澤 杏子	246件
	土居 芽吹	434件
2020年	石川奈津子	751件
	松田 捺美	340件
	小石 桃子	495件
2021年	久恒 悠明	217件
	トゥアソン さら	288件
	齋藤 祐太郎	185件
	田村 千景	151件
	中村 倅大	177件
2022年	西倉 一矢	728件
	齋藤穂乃果	464件

■研修

- ・北大研修医複合型施設(研修機関歴10年)
現在受入人数28人
- ・勉強会:年に3~4回程度、外部講師の出張セミナー
- ・講習会:(常勤になったら) 歯周内科セミナー、塩田セミナー(講習会費用は、医院が負担します)
- ・大阪歯科センター(MTコネクター)見学、塾生受入れ窓口
- ・水平埋伏智歯摘出、歯根端切除見学及び実践
- ・スプリント作成及びスプリント療法見学及び実践
- ・睡眠時無呼吸症候群におけるスリープスプリント治療の見学、実践
- ・矯正認定医による矯正治療見学、MTMの実践

- ・位相差顕微鏡の取扱いと歯周内科の手順と説明方法
- ・保険外義歯(MTコネクター、ノンクラスプデンチャー、コンフォート、金属床など)の実践
- ・軟化パラフィンワックス法による咬合採得の練習、実践
- ・保険外CR充填(積層法)の練習、実践
- ・リーマー破折片の除去の練習、実践
- ・院内感染対策の実践(スタンダードプリコーションの概念習得)
- ・CT撮影、取扱い、読影
- ・調整の少ない技工模型作りと咬合採得の練習と実践
- ・リアルタイムPCR法の練習と臨床応用
- ・無痛治療(電動注射器、笑気鎮静法、血圧モニター)の習得
- ・マネキンによる歯牙形成練習(練習用人工歯は医院が負担します。)
- ・高速診療の習得
- ・インフォームドコンセントの練習、実践
- ・トラブル回避法の習得
- ・保険診療の習得

パーティション▶



▲マネキン、形成練習

■設 備

ユニット 14台
 デジタルレントゲン(1・2階)
 (デンタル、オルソパントモ)セファロCT
 位相差顕微鏡
 口腔内カメラ(2台)
 血圧・パルスオキシメーターモニター
 笑気・酸素吸入器
 口腔外バキューム(4台)
 電動注射器(12台)
 自動練和器(ラクネル、Ap mixer III)2台
 真空練和器(Renfert)
 Dental X(お口の健康手帳とソフト)
 オートクレーブ(クラスN)
 ミニオートクレーブ
 (クラスS)ステイティム
 ウォッシュデイスインフェクター
 ガス滅菌器(ホルホープ)
 タービン48本
 コントラ48本
 ストレート48本
 スリーウェイシリンジ150本
 マイクロスコープ
 セレック
 アイテロ(1台)
 プライムスキャン3台
 バイオサージ

診療風景▶



研修医の研修内容



過去の研修医たち (44人)

秋葉 俊輔	奥山 牧人
う・ひょう	富田 太郎
松村 馨	黒岡 建志
五十嵐裕子	桑原 悠造
町田 友梨	坂東 智子
成瀬 真智	福永 康平
前田 正名	河野 通俊
阿部 一博	大崎 晃嗣
齊藤 秀也	齋藤 大嗣
橋本 里沙	中村 那月
谷 幸憲	執行 勇気
丸岡 春日	荻崎 昭
小島 遥乃	小木曾 哲
善徳 勇貴	辻 綾香
阿部 未来	土田 仁
遠山 晏梨	奈邊 祐加
大澤 杏子	土居 芽吹
石川 奈津子	松田 捺美
小石 桃子	齊藤 祐太郎
久恒 悠明	トゥアソンざら
田村 千景	中村 偉大
西倉 一矢	齋藤 穂乃果

①朝9時～9時45分 マネキン練習、
抜去歯牙での感染根管治療などの練習する。

②オリエンテーション
カルテ記載指導
レセコン操作指導
歯周内科の説明
位相差顕微鏡、口臭測定器などの機器の使い方習得

③スタッフとともにアシスタント業務の習得

④浸潤麻酔の習得

⑤患者さんに治療

1. 根治、根充、補綴物の調整セットから

2. 乳歯の抜歯、CR充填

3. FMC形成、Inlay形成

4. 短根の抜髄、感染根管治療

5. 複根の抜髄、感染根管治療

6. 単純抜歯、前装冠形成

7.ブリッジ形成、義歯の咬合採得

8. 義歯調整、矯正、水平埋伏歯抜歯

⑥20人の先輩ドクターからの指導
(指導医3人、口腔外科医6人、矯正認定医、元当院研修医)

⑦ミーティング及び勉強会開催

アップル歯科の紹介



アップル歯科の紹介

1階



2階



アップル歯科の設備



自動練和機 (印象)



真空練和機 (石膏)



レントゲン説明ソフト (デンタルX)



根管長測定器



クラウンリムーバーシステム



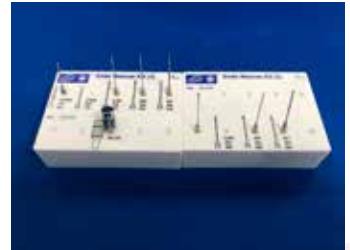
ポストコアリムーバー



奇跡の抜歯鉗子



テンポラリークラウンリムーバー



リムーバー破折片除去システム

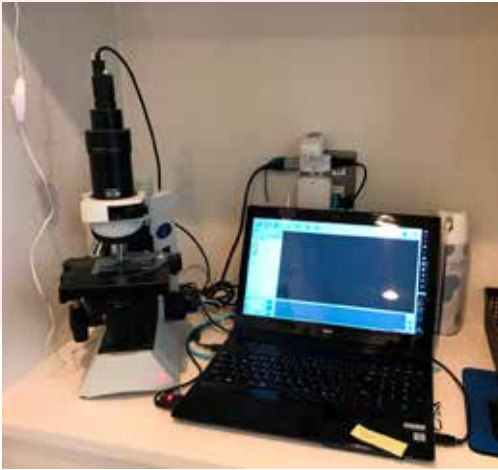


口腔内カメラ (規格写真)



電動注射器

アップル歯科の設備



位相差顕微鏡と歯周内科システム



CT



セファロ



口腔内バキューム



笑気鎮静法



マイクロスコープ



NiTi ファイルシステム
(トライオート)



ホワイトニング照射器



口臭測定器 (オーラルクロマ)



薬液注入型スケーラー

アップル歯科の設備



モニター（血圧、心電図、パルスオキシメーター）



インプランター（2台）



パリオサージ



高周波治療器具



遠心分離機（再生医療用）

アップル歯科の設備

セレックシステム



ミリングマシン



パソコン上で設計



スキャナー



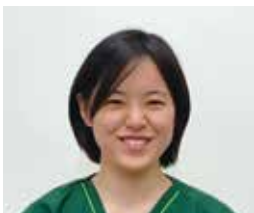
ファーネス

アップル歯科の設備

モチモチデンタルラボ (院内技工部)

2019年6月から3人の技工士さんで院内ラボ(モチモチデンタルラボ)を開設いたしました。

補綴物の技工、矯正装置やスポーツマウスピース製作、セレックシステムによるセラミック治療、義歯修理、かぶせ物の色合わせなどが迅速に行うことができるようになりました。



滅菌の徹底

第1種歯科感染管理者、第2種歯科感染管理者の認定を受けている歯科医院



2階の待合室から見える滅菌ルーム
患者さんが、実際の滅菌風景を見てもらい安心してもらうために配置（滅菌専任スタッフが常駐！）



不潔域から清潔域に移行するように設計されている



3種類のオートクレーブ（Nクラス、ハンドピース用のSクラスのオートクレーブ、高速オートクレーブ）



ガス滅菌器
（ホルホープ）
オートクレーブが使えない器具を滅菌



ウォッシュディスインフェクター
協力的な器具洗浄機で、洗浄後滅菌器へ
スタッフが手洗いしなくていいので、器具の洗浄時に起こる手指の怪我もなく専任スタッフも安心！

タービン48本、コントラ48本、ストレート48本、スリーウェイシリンジ150本、基本セット100セットやバースタンドや根充セットなども多数用意することで、使用済みの器具をすべて滅菌しています。できないものは、ディスポで対応している。

滅菌の徹底

コロナウイルス対策も！

口腔外バキューム 5台
技工用バキューム 3台を配置

- ① マスク、グローブはもちろんゴーグルやフェイスシールドも必ず着用する。
- ② 口腔外バキュームで削りカスなどの飛沫物を必ず吸引する。
- ③ クラウンやインレー調節やデンチャーの削合用のバキュームを必ず使用する。



滅菌の徹底

コロナウイルス対策も！

エアードック 7台
大型加湿器 5台を配置

- ① 常に換気（冬場はCO₂計測器で換気のタイミングを決定。）
- ② エアードック（高性能空気清浄機）でウイルスを99%除去（30分）。
- ③ 大型加湿器で40～60%に湿度を維持する。



滅菌の徹底

コロナウイルス対策も！（待合室）

- ① パーテーション設置して、ソーシャルディスタンスを確保
- ② 手指のアルコール消毒
- ③ 検温器



滅菌の徹底

コロナウイルス対策も! (スタッフ間の感染予防)

- ① スタッフルームもドクタールームもパーテーション設置して、人数制限をし、パーテーション内で昼食をとってもらう。
- ② エアードック (高性能空気清浄機) でウイルスを99%除去 (30分) 設置



ドクタールーム



スタッフルーム

滅菌の徹底

第1種歯科感染管理者、第2種歯科感染管理者の認定を受けている歯科医院

コロナウイルス対策も！

取っ手の付いたピンセットを
150本用意して
ワゴンの中への感染予防を
徹底している。



診療の効率化(アシスタントの動線)



特注ワゴン1



特注ワゴン2



CR照射機、電動注射器、麻酔保湿器、アルコールランプ、超音波洗浄機、薬瓶セット、鏡など



タービン4本、コントラ4本、ストレート4本、CR充填器、CR、フローチ、セメント、タービンバースタンド、表面麻酔液、パラフィンワックス、根充セット、EMR、リーマー類、咬合紙、プライヤー、調整用バースタンドなど

12台のユニット脇には特注ワゴンが2台配置!

特注ワゴンの中身はすべて同じになっていて、アシスタントが中央に取りに行かなくてもいいように、基本診療の器具及び材料がそろっているので、診療しやすくなっています。

アップル歯科の紹介

研修医の安心

- ①滅菌が徹底しているので、感染回避ができる。
- ②表面麻酔、電動注射器、麻酔液の保温、極細の注射針を使用することにより、新人ドクターでも無痛で麻酔ができるので、患者さんに信頼される。
- ③ベテランのドクター（指導医3人）や専門ドクター（口腔外科、矯正認定医、小児歯科認定医）、訪問（摂食嚥下の認定医）または先輩ドクターから治療についての相談ができる。
- ④ベテランの歯科衛生士や歯科助手さんが、アシストについてもらえる
- ⑤新人ドクターを27年間みてきた実績がある（平成5年から111人のドクター）
- ⑥マネキンで歯を削る練習ができる
- ⑦いろいろな治療法や材料を試したがる院長がいる
- ⑧いろいろな患者さんを多く診ることができるので、早く基本手技を習得できる
- ⑨25年間のトラブルの集積があるので、トラブルを回避する方法を習得できる
- ⑩研修医にやってもらう治療は、段階を踏んでいくので無理なく習得できる
- ⑪優しい先生やスタッフがいる

月～金曜日も訪問診療を行います！

訪問歯科診療は、通院が困難な方の元に歯科医師・歯科衛生士がお伺いする医療サービスです。2018年に新設して以来、大変ご好評いただいております。そんな多くの患者の皆様のお声にお応えすべく、2019年4月からは、「火曜日」の他と「木曜日」、2020年7月からは「水曜日」、2021年4月から「月曜日金曜日」も皆さまの元へお伺いすることが出来ることになりました！今後とも、アップル歯科訪問歯科診療チームをよろしく願いいたします！

小児専門歯科を新設します！

「より多くのキッズのお口を健康にしたい！」という院長の思いから「金曜日」に小児歯科専門の歯科医師を配属することが決定しました！今まで通りに受付順で、他の歯科医師の治療を受けていただくことも可能ですが、「金曜日」の小児専門歯科については、**完全予約制**となります！ぜひ、皆さまのニーズに合わせて選択していただければと思います。



日々の生活やワークライフに活用されています。



1階は予約不要の検診受付や歯のクリーニング、矯正相談が受けられます。2階は歯周病科、口腔外科、歯内療法科、小児科などがあります。また、業務用の歯科材料は、在庫限り限り、受注生産制です。自身の生活スタイルに合わせてお選びいただけます。

歯の健康や口腔健康を維持し、あなたの生活を豊かにするために、私たちは最新の医療機器や材料を積極的に取り入れ、患者様の満足度を高めることに努めています。

歯科 オペレーション室、手術室、デンタルラボ

- 一般歯科** 虫歯治療、歯の矯正
- 歯内療法科** 根管治療、歯の保存
- 歯周病科** 歯肉炎、歯周炎の予防と治療
- 小児科** 小児歯科、小児矯正
- 口腔外科** 歯肉増設、歯肉切除
- 審美歯科** 歯の漂白、歯の着色除去

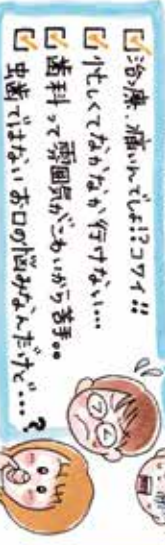
大田区大田駅前、大田区大田駅前

待合室 はゆったりとした空間で、リラックスできる環境を演出しています。

- 受付** 受付は明るく、丁寧な対応を心がけています。
- 診察室** 診察室は明るく、清潔な環境を演出しています。

院長の挨拶、患者様の安心感、スタッフの笑顔、清潔な環境、最新の医療機器、患者様の満足度を高めることに努めています。

歯医者は、早めに行動したほうがいい。いいところは、早いほうがいい。



治療、痛み、歯の矯正、歯の健康、歯の予防、歯の美容、歯の治療、歯の予防、歯の美容、歯の治療、歯の予防、歯の美容...

安心、安全、快適な歯科治療。

Apple Dental Clinic

「Apple Dental Clinic」は、最新の医療機器や材料を積極的に取り入れ、患者様の満足度を高めることに努めています。

〒100-0001 東京都千代田区千代田

〒100-0001 東京都千代田区千代田

院長 星月俊男 先生のご挨拶

「Apple Dental Clinic」は、最新の医療機器や材料を積極的に取り入れ、患者様の満足度を高めることに努めています。

〒100-0001 東京都千代田区千代田

痛みが少ない、丁寧な治療、安心な環境。



① 初診の痛みを軽減する。② 治療の痛みを軽減する。③ 治療後の痛みを軽減する。

「Apple Dental Clinic」は、最新の医療機器や材料を積極的に取り入れ、患者様の満足度を高めることに努めています。

歯科の悩み 虫歯、歯周病、歯の矯正、歯の美容、歯の治療、歯の予防、歯の美容...

① 虫歯の予防と治療

② 歯周病の予防と治療

③ 歯の矯正と美容

医師の経歴と、受付、スタッフの笑顔

院長の挨拶、受付、スタッフの笑顔、清潔な環境、最新の医療機器、患者様の満足度を高めることに努めています。

〒100-0001 東京都千代田区千代田

Illustration by 80000

アップル歯科の研修を終えて

アップル歯科での研修を終えて

2008年 秋葉 俊輔

アップル歯科で卒後臨床研修を終えて早くも7年目になろうとしています。

13年も昔、アップル歯科と若かった望月先生との出会いは大学1年生、早期臨床研修での研修先に指定されたことからでした。そのときは何とも思いませんでしたが5年生のとき、再び後期臨床研修でお世話になりました。

そこで見たのは、札幌近郊の快速も止まらないのに歯医者だらけの小さな町で、待合室から階段まで人が並んでいる、およそ歯医者余りの世の中では考えられない光景でした。

さらに卒後2年の先生方が手際よく患者の治療をこなしていているのを見て驚愕しました、これが卒後2年の先生の仕事かと。大学病院でしか治療を見なかった僕にとっては、臨床能力(手が動くこと)があまりにも高いことにただただ驚愕でした。

さて、33歳という年齢で卒業する僕にとっては、1日でも早く一人前の歯科医師になることが必要でした。その場で望月先生にお願いして、今後勉強のため見学させていただくことになりました。

その後見学を重ねていくうちに、望月先生から卒後臨床研修施設の登録に出してみようか？ウチ来る？みたいな申し出を頂き、二つ返事でお願ひしました。めでたく研修施設に登録され、歯科医師免許を手にしたその日から治療に専念できるよう、国試の一週間前までも治療の流れを見学して覚え、試験後も見学に加えシュミレーターなどを使わせていただき練習しました。

免許取得後は本当にまあよく治療させていただきました。最初はなかなかOKがでず、先輩に手直しばかりされていましたが、半年で臨床システムのコンピューターに登録した治療件数は1200症例に達しました。

後期に大学に戻ってみると、半年間ひたすらカルテの整理をした人や、技工しかやっていた人、卒後半年で同期とはすでに埋めがたい大きな差ができていました。ちなみにこの差は数年後にはさらに大きな、歯科医師としての差として広がっていきました。

今から考えると、ただただ点数をこなすだけの歯科医院が多い中、手抜きにならず確実な治療を一定レベルで達成する仕組みがアップルの治療の流れで確立されていたので、これが僕の治療の基本となっていたのが大きかったといえます。自分で、自分や患者が満足する治療の流れやルールを作るのは思う以上に難しいのです。

それにしても、先輩の先生方と飲んでも9割がた治療の話ばかりしてました、あんなに治療を楽しく話していたのは後にも先にもあのときだけです。

研修が終了したら、そのままアップルで就職したいと考えていました、というかアップル以外の選択肢は頭の中にはありませんでした。しかし、僕は学生時代には幼馴染と結婚していて、その義父が脳梗塞で倒れ、介護のため大阪に帰らざるをえなくなりました。

帰るべき大阪は完全にアウェーです、頼るべきものはなく、何とか知り合いの衛生士に紹介してもらった先生の下で勤務をします。有名な勉強会を立ち上げた先生で、めったに弟子を取らないのですが、卒後1年で身に着けていた力を認められ採用していただきました。

そこで2年ほどお世話になっていましたが、休日にごろごろしていたら妻にバイトにいけとたたきだされた結果、そのバイト先で1月ほどで分院長の打診をいただきました。2年間お世話になった先を退職し、半年ちょっと本院で修行を経て分院の新規開業で院長になりました。アップルで研修終了してからわずか3年弱のことで、同期のなかでも最速の部類です。

新しい医院の立ち上げは大変です、しかしアップルの治療システムが完成されたものだったので多少のカスタマ

イズをして導入しました。半径200メートル圏内に6件の歯科医院がある超激戦区でしたが、無事に軌道にのせることができ分院長として成功の経歴を手に入れました。

2年間分院長を勤め、30代最後の年について自己開業しました。成功した分院長としての経歴があったため、融資はびっくりするほど恵まれた条件で得られました。

新しい医院はユニット6台、アップルと同じです。アップルのような医院をつくりたいと考え、ずっとがんばってきました。まだまだアップルには及びませんが、患者もどんどん増えてきています。

歯医者が余っていると嘆く人も多いですが、開業への道が閉ざされたわけではありません。

思えば最初の三年間、とりわけ最初の1年こそがその後の歯医者として、人としての人生を決める大事な期間だったと断言できます。最初の最初にきちんと手が動く臨床能力、そして治療の基本をつけることこそが、有利に業界で生きていく歯科医師への絶対条件です。勉強は後からでもできますが、基本を教えてもらえるのは卒業して最初だけ。機会があってアップルで研修する幸運に恵まれた後輩たちには、研修期間を大事にして臨床に励んでいた

だきたいです。僕にとっての開業へのプラチナチケットはアップル歯科でした、皆さんにとってもアップル歯科がプラチナチケットになることを切に願ってやみません。

研修医となる皆さんへ

2009年 奥山 牧人

私が研修医だったのは平成21年の頃、もう大分昔のことになってしまいました。

今とは研修医の仕組みも変更があるかもしれませんが、一概には言えないところもありますが、できるだけ当時のことを振り返って書いていきます。

皆さんも今は国家試験勉強真っ最中で、「単独型やら複合型やら、研修先も沢山ありすぎてよくわからない！取り敢えず模試の勉強をさせて欲しい！」恐らく今はそんな状態だと思いますし、勿論今すべきことは国試勉強です。

ただ研修医の期間は研修中だからと、色々気兼ね無く質問もできるし、率先して学べる機会に恵まれています。

今少しだけペンを置いてこれからやって来る一年の予定を考えてみませんか？

■研修医としての一年をスタートする前に

研修を受けるにあたり、この一年間に個人個人で何を重視するのかというのは、まだはっきりした物は決まっていなくてもぼんやりとはあると思います。

私の場合はまず家庭の事情もあり、将来的には大学院に残らず、研修終了後はすぐ実家の歯科医院に戻るか、可能であればどこか外の病院に就職ということを考えていました。

学生時代は臨床実習で患者さんの治療を触らせて貰った経験も少なく、研修医になってからは実際に患者さんを1人で治療する(指導医の下でとってはいますが、大学病院の実戦では介助などはありませんし1人だと思って下さい。)ことを考えると、正直不安でした。研修医一年間のみのこの期間で何処でも外で働けるレベルになれるとは考えていませんでしたが、少なくとも「手が動くようになる。」ことと、パッと患者さんの治療に入った時に、「不安・迷いなく治療を完了できる。」ことは達成目標にしていました。どちらもどのみち全員が達成しなければならないもので特別な目標というわけではありませんが、当然早ければ早い程良いわけですし、私の場合は早く達成する必要がありました。

■教科書の話と実戦での違い

皆さんは国試勉強で各歯科疾患の鑑別診断方法はすでに把握していると思いますが、治療中にそれを発揮できるかはまた別の話になります。

というのも教科書的な解剖形態の分かりやすい口腔・歯牙はあまりお目にかかることはなく、厚い頬粘膜や巨舌、狭窄して消滅しかかっている歯髄腔や根管口等、治療を困難にする「個人差」という因子に数多く遭遇するでしょう。「解っちゃいるけど判らない…」私は最初こういう状態になりました。

大白歯麻酔抜髄を例に挙げてみると、まず露髄したかどうかの判断がつかないことから始まります。もう分岐部近くまで深く削っているのに出血がない…しかも穿孔リスクが大きくてもう迂闊に削れない…もしかして露髄を見逃してて今削ってるのは髄床底かもしれない…いやでもまだ削合量が足りなくて届いていないのかも…レントゲンでも髄腔は不鮮明でわからない…ミラーで覗いても深すぎてよく見えないし、バーの先端位置も何処に当たっているか掴みにくい…

教科書ではこういう時どうすれば良いか、「歯髄が退縮し、歯髄腔が狭窄している場合は髄床底を傷付けないよう慎重に削合する。」と百も承知なことが書いてあるでしょう。

では無事髄腔を開いて根管口らしき

点も見つけたとすると、次は根管口の拡大ですが、最初からピーソーやゲイツドリルで拡大して良いケースが全てでは無く、ピーソーが入ったとして、直視できない根管口にきっちり入っているか、その角度と深さ、回転速度、トルクが指に伝わる感触は適正か、根管口拡大に至るまでの前処置は完璧か等、自信を持ってOKと言えるでしょうか。

これらは教科書を読むだけでは絶対にわからない、実戦に出て、自分の目や手で感じて、初めて気付いて考えるようになる事柄です。

私も教科書では自分の中で当たり前となって読み流すようになった事柄が、実際の所正確にはどういう状態だと適正なのかが判っていなかったのです。

「判らない」ことが不安を呼び、不安があれば迷いを生じ、迷いがあれば手が進まなくなり、治療が完了出来なくなります。

ではこういった問題を克服するにはどうしたら良いか。

近道は無く、シンプルですがひたすら治療の数をこなすしかありません。

治療して治療して、判らないことに気付き、指導の先生方によく尋ねてよく確認して、吸収して、また実践して、それでも上手いかなければまた練習と実践を繰り返して…この積み重ねの中で徐々に掴んで行くしかないと思います。

見なくてもやらなくても、聞いて読むだけでどうにかなる代物ではありません。

■恵まれた環境

大分前置きが長くなりましたが、本題です。

私がアップル歯科を研修先に選んで、心から良かったと感じたことは設備面も勿論ですし、何より治療の際のバックアップが厚いことです。

治療の際に困ったことがあれば、すぐに駆け付けて下さります。

治療途中で詰まらないように、放置は全くせずずっとしっかり様子を見て下さるので安心感が違います。

衛生士さん・助手さんの練度も高く、常に1人は治療のサポートについて下さるので、治療に専念できますし、処置のシステムも完成されていますので、スムーズに治療を完了できます。

また指導の望月院長先生を始め、先生全員がこちらから質問もどんどん遠慮無くできて、教えて下さる優しい先生達ですので、これもとても大事な要素だと思います。

わからないことがあっても恐くて聞けないような環境では早くは成長出来ないでしょう。

そして実際に治療させて下さる患者さんの数が圧倒的に多いということ、これは他にここまでさせて下さる所は

全く聞いたことがないというくらい圧倒的です。

先ほどの数をこなすという方法にはまさに理想的です。

最後に自由に練習できる環境が整っていることです。

ファントム実習の設備があり、私の場合は毎朝診療開始前と時折お昼休みに使わせて頂きました。バー等も好きに利用させていただき、形成してはCRで修復してまた形成して、模型がボロボロになるまで自由に練習させて頂きました。

これも自身の不安を克服するのにとってもプラスになりました。

大学病院では当日以前に事前の申し込みが必要だったり、監督する先生の予定が合わなかったりと、色々な理由からなかなか自由に練習もできず、利用できる治療機器も少なかったのも、これは大きなアドバンテージだと思います。

■研修を終えて

半年間は今思えばあっという間でしたが、毎日発見と反省と少しずつ進歩を感じましたし、望月先生の整った研修コンセプトのもとで一日一日非常に密度の濃い日々を過ごすことができました。毎日体力はどんどん使いますが、そのおかげで、研修医期間が終わった直後に1人で一般開業歯科医院で代理

診療することになった期間がありました。何とか無事診療をこなすことができました。

研修予定の皆さんの一年を決定するには、もっと詳しく具体的な研修内容を知りたい方もいらっしゃると思いますが、濃すぎてとても纏めきれないので、何卒ご容赦下さい。ただ確実に言えることは、アップル歯科での研修に半年間を投資しても、有り余るほどの恩恵が得られます。思い切って飛び込んでみれば、この半年が皆さんにとって生涯残る財産になってくれるでしょう。

アップル歯科での研修を終えて

2010年 富田 太郎

アップル歯科での研修を終えて、私が感じた事は、とても温かい良い職場だったという事です。院長先生が気さくな人柄で、他の勤務医の先生、スタッフさんも皆仲が良く、職場の対人関係などのストレスはほとんどなかったと思います。それが私にとってアップル歯科で研修をして一番良かった点です。楽しく半年間の研修期間を過ごす事ができました。

また、仕事に関しても、できそうな事

はどんどんやってみて、というスタンスで、院長先生から患者さんをふってもらえます。最初は根管治療の貼薬交換、SRP 前の浸潤麻酔、インレー、クラウンのセット、などから始まり、CR 充填、インレー形成、クラウン形成、抜髄、感染根管治療、抜歯など、頑張れば半年間でほぼ一通りの一般治療をある程度の技術まで習得できると思います。

マネキンが院内にあるので初めは模型を使って形成や充填の練習もさせてもらえます。

また担当医制ではないので、できる処置だけをふってもらえて確実にステップアップできます。

卒業後、手を動かして技術をまず身につけたいという人にはアップル歯科は恵まれた研修施設だと思います。

アップル歯科での研修を終えて

2010年 松村 馨

自分は平成 22 年の 10 月から、翌 23 年の 2 月までアップル歯科で複合型研修の形で臨床研修を受けました。

アップル歯科に来院される患者さんは、数が多く、治療内容も齶蝕から、歯周病、義歯、外科、矯正と多岐にわたります。こうした患者さんの多様な歯科

治療に触れることは大きな経験になりました。治療内容に関しても、高頻度治療の割合が多く、大学を卒業し、まず実際の臨床を経験する場として適していると感じました。

アップル歯科の研修施設の特徴としては、研修医が見学主体ではなく、実際に治療に携われる環境があげられます。浸潤麻酔から始まり、根管治療、抜歯、窩洞形成と、できることが段々と増えていくので、自分自身で、理解したところと、今研修が必要な部分がわかりやすく感じました。

研修中に診療以外で影響を受けたのはカルテの書き方です。こちらの医院ではカルテ記入の時間短縮の方法として、治療内容をスタンプでカルテに押印する形式がとられています。また紙媒体とは別に、PC上で入力も行います。大学を卒業するまで、保険点数やカルテの記載方法について何も知らなかった自分は、ここで大変勉強になりました。

歯科治療を行う上で、衛生士さんをはじめ、スタッフの方にお世話になる状況は数多くあります。アップル歯科は院長先生をはじめ、スタッフの方々は親切な方ばかりなので、委縮することなく、研修を積むことができました。

以上が、自分がアップル歯科で研修を積んだ感想です。

大学病院で卒後臨床研修を行う場合、

所属する教室によって、研修する内容に偏りが出てしまう可能性があります。また、将来を考えた場合、大学外の臨床の場を知っておくことは、研修医の頃に始めても早いことはないと思います。その場合、少しでも自分が見学だけでなく、経験を積める環境が望ましいと感じます。

その意味で、複合型研修施設としてアップル歯科を選択することは、これから卒後臨床研修を受ける皆さんにプラスになると思われます。この文章が、皆さんの研修施設を決定する参考になれば幸いです。

アップル歯科での研修を終えて

2011年 猪股 裕子

アップル歯科で研修を終えての感想は、何よりもたくさん患者を診療できるところです。

学生の時に実習で患者の治療をしているとはいえ、慣れるほど数を診ているわけではなく、自分1人で治療することに不安がありました。

しかしアップル歯科ではレベルに応じて最初は簡単な処置から、慣れてきたらまた違う処置を次々にやらせてもらうことができたので、少しずつ自信

がついて治療することができました。

窩洞形成は模型で練習できるので、朝は早く行って練習していました。また横についてくれるスタッフのみなさんもとても親切で、緊張している私に「次はコレだよー」とアドバイスをしてくれたので大変助かりました。初めてコア形成したときのことは今でも覚えています。

働いている先生方の人数も多かったもので、いろいろな先生から様々なアドバイスを受けた点も良かったです。

カルテの書き方も教えてもらい、自分で入力できるので点数の取り方もすぐに覚えられます。

大学とは違う開業先での研習は私にとって歯科医師としての大きな一歩となりました。

早く患者さんに慣れて治療をしたいという方にアップル歯科はおすすめです！

アップル歯科での研修を終えて

2011年 黒岡 健志

私は研修を前期は北大の1補綴、後期をアップル歯科で行いました。その理由としては、まずDentureに興味があったということ、そしてアップル歯

科に行けば症例数を稼げるという先輩からのアドバイスがあったからでした。正直、卒業するまでに自身で行った治療というのは共診で自分が連れてきた患者に前歯のCR充填くらいしか記憶にありません。そんな状態で歯科医師免許だけが手元にあっても不安しかありませんでした。私個人の考えとしては、治療をできるようになるには、また上手く早くこなせるようになるには数をこなす以外にないという考えがありました。そんな時にアップル歯科で研修をした先輩からの情報を受け、アップル歯科での研修を希望しました。

研修が始まってからは、治療をやっていくのにも簡単なものから徐々に難易度の高いものへと段階を踏んで教えてくれました。初めはSRPの浸麻でしたが手が震えていたのを今でも覚えています。私の時代は半期に研修医は1人だったので、結果的に簡単な処置を含めると1000症例を超える数をこなしており、自分の目標であった「数をこなして手を動かせるようになる」ということをしっかり達成できました。研修を終えたころだけを見れば、自分が同期の誰よりも手が動くと思えるほどの内容の濃さでした。

また、アップル歯科には常勤のドクターの他にも北大の大学院から非常勤のドクターが何人も働きに来ており、その先生方の専門の知識の惜しむこと

なく教えていただきました。時には無茶ぶりをされて大変なことも多々ありましたが、やはり人間は少し背伸びをしないと成長することはできないので、それを含めての自身の成長だと思っています。

今後進路を決めていくにあたって自分が将来どのようなになりたいかを考えたときに、私には大きな目標がありました。その目標を達成するために一般診療をこなすことは必要最小限のものでしかなく、むしろできなくでは論外です。しかしその一般診療こそがすべての歯科診療においての根底にあり、それがおろそかになってしまうとその上にどれだけ知識と経験を蓄積しても意味はありません。そして一度変なクセや知識がついてしまうとなかなか直りませんし、周りが注意してくれることも減ってしまいます。私は研修医の時にしっかりと知識と技術で一般診療を習得することが今後長く続く歯科医人生で重要だと考えました。そしてアップル歯科にはそれを達成する機会と知識と技術を惜しみなく与えてくれました。

みなさんも進路を決めるにあたり、もし私と同じような考えになればアップル歯科はうってつけの環境だと思います。これから先のことを考えると悩むことも多くあると思いますが、自分の考えをしっかりと持ち頑張っていっ

てください。

アップル歯科での研修医生活

2012年 桑原 悠造

僕がアップル歯科で研修を行ったのは後期でしたが、前期の間にも何度か見学に伺わせてもらい、望月先生や他の先生方ともお話していたのであまり緊張することなく初日を迎えられたのを覚えています。

前期の北大での研修時も患者さんをそれなりに多く診療させてもらっていたため「アップルでもどんどん患者さんを見ていこう！」と意気込んでいましたが、初日に望月先生から言われたのは「最初の2週間はうちの衛生士さんについて一緒にアシスト業務を主にしてもらおうから」ということでした。

正直少し力が抜けたところもありましたが、実はこの2週間がとても大事でした。アップル歯科はスタッフの数も多いのですが、一日スタッフと一緒に仕事をするのでコミュニケーションをよく取ることができ、早く溶け込むきっかけとなりました。また先生方の治療を間近で見れるので、アップル歯科での治療の流れを覚えることもできました。

その後の2週間は望月先生や他の先生方の診療を見ながらその内容をカルテに書く事でした。アップル歯科は電子カルテの他に紙カルテも使っているため、実際に紙カルテに記入することにより治療の際に取れる項目やその点数などを覚えるのに役立ちました。

研修1ヶ月を過ぎると少しずつ根管治療や補綴物の装着をさせてもらえるようになります。大学とは違いアップル歯科ではユニット一台に一人は必ずスタッフの方がついてくれるので、少し緊張もしますが、何年間も研修医を見ているので研修医が起こしやすいミスなども把握しており、的確なアドバイスをフォローもしてくれるので本当に助かりました。

アップル歯科での診療に慣れてくると、次は形成などもやらせてもらえるようになります。ただこれもいきなり患者さんの歯を形成するのではなく、まずは朝の診療時間前にユニットを使って模型の形成練習をさせてもらい、随時先生のチェックを受けます。そこである程度出来るようになってから実際の患者さんの歯を削るので、余裕を持ってタービンを用いた治療を行えました。

またアップル歯科は基本的には予約制や担当医制ではないので、研修3ヶ月頃になると、中に案内された患者さんのカルテを見て自分で大丈夫そうだと

と思ったら(時には望月先生に確認しながら)どんどん入っていけるようになりました。もちろんこれは常に上の先生方がうしろで見守ってくれ、何かあったとしてもすぐサポートしてくれるだろうという安心感があったからこそ出来たことだと思います。

そして週に2日は口腔外科の先生が2~3人来ているため、間近で水平埋伏智歯の抜歯や歯根端切除術も見学でき、さらに実際に指導してもらいながら智歯の抜歯も何度も行うことができました。

他にも矯正や2保存から先生がきており、色んな専門の方々と治療の話が出来たことはとても貴重な経験となりました。

研修が始まり4ヶ月も過ぎると一日20人以上治療する日も増えてきてさらに楽しくなってきました。もちろん楽しいことだけではなく治療できる人の数が多くなる分失敗も色々ありましたが、その度に先生に励ましてもらい、めげずに積極的に研修を行えたからこそ今の自分があると思っています。

また僕は卒業したばかりの歯科医師には上手い下手の差などほとんどなく、どれだけ多くの経験を積むかによって成長の仕方は変わると考えていたので、有意義な研修を行うことのできたアップル歯科への就職を決めました。

今も充実した歯科医生活を送らせて

もらっているアップル歯科にはとても感謝しています。そして研修医として来られた方が以前の僕のように気持ちよく働くことができ、成長していけるようサポートしていきたいと思っています。

アップル歯科での研修を終えて

2013年 成瀬 真智

私は研修終了後に大学院進学等の予定がなく、すぐに就職しようと考えていたため、北大の研修プログラムの複合型を選択しました。研修医の1年間を大学でじっくり研修するよりは、研修の期間から大学の外に出て、一般歯科をできるだけ多く学びたいと思ったのでした。数ある複合型の協力施設の中からいくつかの歯科医院へ見学に伺って、最終的にはアップル歯科を希望するに至ったわけですが、その理由は3つあります。

まず一つ目は、研修制度の開始から毎年欠かさず先輩方が研修先として選んでいるということです。これは、研修先として評判がよく人気が高いということなので、充実した研修ができると思いました。

二つ目は、症例数が多くたくさん診

療させてもらえるという情報があったことです。アップル歯科は患者数も多いので研修医でもたくさん診療させてもらえるという話を先輩から聞いて、限られた期間で少しでも多く臨床に触れられるということが非常に魅力的に感じました。

三つ目は、実際に見学に伺った際に医院の雰囲気がとてもよかったことです。見学してみると患者さんがとても多くてその忙しそうな様子に最初は面食らいましたが、診療の合間にいろいろ教えてくださった先生方が皆とても気さくで、ここでなら研修が忙しくて大変だったとしても前向きに頑張れそうだと思う明るい雰囲気を感じました。

以上の理由からアップル歯科を選んだのですが、半年間の研修を終えて、事前に得ていた情報や自分の感じた雰囲気はどれも間違っていなかったので、私はアップル歯科で研修ができて本当によかったと思っています。

また、事前の情報収集では得られなかったことですが、実際に研修してみて私が感じたアップル歯科のよさを2点挙げます。

まず一つ目は、歯科衛生士さんや歯科助手さんが研修医の受け入れに慣れているということです。指導医の先生のみならず、スタッフ全体が卒後間もない研修医の力量を把握しているので、

研修初期の不安な時期でもうまく診療のサポートをしてくれてとても力強いです。また、みなさん優しくて親切な方ばかりなので雰囲気がとてもよく、楽しく研修できました。

そして二つ目は、研修後も就職の相談に乗ってもらえるということです。私自身、研修終了後も引き続きアップル歯科で勤務させていただくことができましたし、一緒に研修した同期は院長先生の紹介で就職先やバイト先を見つけました。歯科業界は人脈や伝手が大事なところなので、これは大きな強みと言えると思います。

このように、アップル歯科は研修先として非常におすすめできる歯科医院なので、研修先のことで迷っている方がいましたら、ひとまず医院見学へ行ってみてください。

アップル歯科での研修を終えて

2013年 坂東 智子

アップル歯科で研修させていただいた5か月半はとても充実していました。私は研修先にアップル歯科を選んで本当に良かったと思っています。

私は学生時代実習がとても苦手で、口腔内を触るだけでも手が震え、麻酔

なんて普通にうてるようになるのだろうか、臨床をやっているのだろうかと思っていました。

研修ははじめから北大の複合型を考えていましたので、協力施設を選ぶ際に先輩方のアンケートを参考にさせていただいたのですが、その時も初めはアップル歯科を全く考えていませんでした。それは一日に見ることができる患者さんの人数や処置の内容を見て、何にでも怖気づく自分には到底無理だと思ったからです。本来であればそこまで研修医の時に経験できるのはとてもいいことなのですが、はじめは1年間の研修医をなんとか無難に終えることばかり考えていましたので、アップル歯科は全く選択肢にはありませんでした。

しかし研修先を決めなくてはいけない時期が近づき、何件か見学先を決めようと思った時に、先輩方からの評判も良く人気のアップル歯科は見ておかななくてはと思いました。実際見学に行ってみると、やはり患者さんの人数に驚きました。そしてドクタースタッフ全員がとても仲が良く、雰囲気がとても良いと思いました。ここであれば半年間研修医を頑張ることができる気がする、チャレンジして変わるかもしれないと思い、アップル歯科で研修することを決めました。

研修医になり4月の中旬からアップ

ル歯科にお世話になりました。大学での2週間弱の研修では患者さんの口腔内を触るような研修はほとんどありませんでしたので、いきなり実践のような感じでした。アップル歯科では初めの二週間、スタッフさんについてアシスト業務からでした。学生時代に積極的にいかなかった自分が悪いのですが、印象をとったり、P検査をしたり、合着した補綴物のセメントをとったりするのもほとんど学生時代にはしたことがなかったので、とても緊張し、アシストも何一つうまくできませんでした。毎日できないことばかりでつらく、また毎日夜遅くまででしたので肉体的精神的にも大変で、こんな状態を5か月間も続けるなんて絶対に無理だと思い逃げたくなりました。もう一人の研修医と毎朝、毎晩「つらいね、大丈夫かな、今日もこれができなかったよ」とお互いを慰めあって何とか出勤していました。

しかしこんなに何もできない私でしたが、スタッフの皆さんは嫌な顔一つせず、ずっとフォローしてくれました。印象が取れなければすぐ取り直してくれますし、アドバイスもたくさんしてくれました。もちろん先生たちもです。アシストがうまくできなくてもたまたましていてもずっと待ってくれましたし、休憩時間はいろいろな話をして本当に楽しく過ごせました。今思い返すと、つ

らい、行きたくないと家族に言っていた時期は本当に最初の2～3週間だけだったと思います。

3週目からはドクター業務にうつり、麻酔もするようになりました。はじめはやはり手が震え、やはり無理だと思いましたが、毎日嫌でも何回も麻酔をさせてもらえますので、手の震えも気づけばなくなっていました。麻酔をやり始めたら、次のステップへと簡単のところから徐々にステップアップさせてもらい、その度にやはり緊張するものの、本当にたくさん数をこなせますので、自然と緊張がとれて自信にもつながってきました。どんどんやれることが増えると、診療に対する楽しさも出てきました。楽しいと思えるなんて初めは想像もしていませんでした。

体力的にもだんだんと慣れてきました。やれることが増えると一日もあつという間に感じるようになりました。休憩時間には先生方やスタッフさんたちといろいろ楽しくお話をしたり、仕事終わりに飲みに行くのもとても楽しい時間でした。またアップル歯科にはバイトの先生もたくさんいらっしゃるの、代わる代わるいろいろな先生とお会いできるのも楽しみでした。先生方はどんなに忙しくてもチェックしてくれますし、失敗したときには優しくフォローをしてくださる方ばかりです。また年齢の近い若い先生には上の

先生には聞きづらいことも聞けましたし、とても良い環境でした。スタッフさんもベテランの方ばかりなので、やったことのない難しい処置でも安心してチャレンジできました。

最後には大学にもどるのがさみしいと思うくらいになっていました。初めの頃とてもつらくて続けられないと思っていたのが嘘のようで、5か月半は終わってみるとあっという間でした。

研修先にアップル歯科を選んで本当によかったと思っています。元々器用ではないので5か月半経って何でもできるようになったという訳ではもちろんありませんが、一般的な診療を一通り経験させていただくことができました。私は診療に対して本当に恐怖心があり、怖気づいてなかなか前にいけないタイプでしたので、やってみると背中を押してもらえたアップル歯科は私にとって本当に良い環境だったと思います。アップル歯科で研修していなければ、研修医1年を無難に終えてさっさと臨床から離れていたと思います。本当に感謝しています。

研修医の1年間は今後に関係する本当に大切な1年間だと思います。アップル歯科はたくさんの症例を経験することができますし、先生方もスタッフの皆さんもフォロー体制は万全で環境はとても整っていますので、私のように臨床に全く自信がなくてもやりきる

ことができる場所だと思います。自信がない人も、たくさんチャレンジしたいと思っている人も、アップル歯科での研修は本当に充実した日々になると思います。いろいろな選択肢があると思いますが、充実した一年間を過ごせるように頑張ってください。

アップル歯科での研修を終えて

2013年 福永 康平

アップル歯科には後期に研修へ行かせて頂きました。前期の半年は大学での研修でしたが、後期のアップル歯科での研修もとても充実した内容だと感じられました。やはり、一般開業医院の元へ研修へ行くことはいろいろと不安があったのですが、実際に行ってみると大学での診療との違いを感じることができ、診療中のスタッフとの関わりを通して、大学では学ぶことのできないことを多く学ぶことができたと思います。そして、そう思えるのもきっと研修先にアップル歯科を選んだからだと思います。アップル歯科での研修では、まずはじめの2週間は主にスタッフ業務を行いました。日替りで様々スタッフに指導して頂けるので、いろいろな考え方が身に付きます。またはじめに

スタッフ業務を覚えることで、治療の流れを理解し、Drの治療もよく観察することができました。それによってそのあと自分が診療を行っていくようになってスムーズに治療ができるようになりました。スタッフ業務を覚えてから実際に患者さんを診させて頂くようになりましたが、ここで、アップル歯科の特徴としては予約が基本的にはなく、担当医制ではないので、様々な症例を診ることができる所が挙げられます。なので、もし自分がやりたい、挑戦したいということがあればどんどんチャレンジして、そのスキルを延ばしていくことができます。しかし、研修医で経験が少ないと、このやり方で大丈夫なのかと不安に思うことがあります。それでもアップル歯科には院長をはじめ、常勤の先生方、また数多くの非常勤の先生がいらっしゃるのですぐに相談することが可能でした。そのようにしてアップル歯科での研修では、他の研修先の歯科医院の研修医よりも多くの症例を診ることができ、多くのことを学ぶことができたという自信があります。アップル歯科での研修は自分のように卒業したてで治療を行うことに自信のない人でも、丁寧に教えて頂け、かつ症例を多く診ることで、おのずと自信をつけることができます。なのでもし研修先に迷っているのであれば、1度アップル歯科へ見学へ行くことをおすすめ

します。

アップル歯科での研修を終えて

2013年 町田 友梨

研修医生活の前半の半年間をアップル歯科で勉強させて頂きました。カルテの書き方、麻酔から始め、徐々に根管治療、抜歯、C処、支台歯形成、抜髄などやっていきます。「失敗してもいいからまずはやってみて」という方針なので、最初の頃は挑戦してみたいという気持ちもある反面、不安の方が大きくなかなか踏み出せない時もありました。しかし、気付くと後ろに先生方がいて下さって、わからない時、できない時はいつでも相談でき、必ず助けて下さるので、何とか治療に当たることができました。最後までやり通せなかった治療は優先的に振られるので、次は完璧できるようにと頑張ることができました。

恐らく、どこの研修先よりも断トツの経験数の多さです。歯科医師人生の始めの大事な時期だからこそ、失敗してもアドバイスを頂けるチャンスを頂ける環境で研修することは重要だと思います。もう2年目が終わろうとしています。アップル歯科での研修が基礎になっていると節々で感じます。

最後になりましたが、望月先生をはじめとするご指導下さった先生方、長時間の治療にも関わらず温かくアシストして下さいましたスタッフの方々に感謝申し上げます。

アップル歯科での研修を終えて

2014年 阿部 一博

アップル歯科で半年間研修医として勉強させて頂き、私は多くのことを学びました。アップル歯科での研修は非常に充実したものであり、大きな財産を得ることができました。

アップル歯科で研修を行う上での利点は、まず何と言っても数多くの患者さんを診ることができる点にあると思います。院長をはじめとする他のドクターのアドバイスやサポートを受けながら様々な症例を診ることで、歯科医師としての診療技術や速度、診断力を向上させることができます。それに加え、多種多様な患者さんへの対応を学ぶことができ、コミュニケーション能力や歯科医師としての自信を身につけることができます。これらのことは、今後歯科医師として働いていく上で有利になること間違いありません。

次に、アップル歯科では多くの常勤

ならびにバイトのドクターが働いていることが挙げられます。多くの先輩ドクターの診療を見学することで、治療の技術および患者さんに対する接し方を学ぶことができ、自分の診療スタイルを確立するための礎を築くことができます。それに、自分が診療していて困った際も様々なドクターからアドバイスを頂くことができるので、正しく効率の良い治療を身につけることができますようになります。

また、アップル歯科は最新の器具や材料、技術を積極的に取り入れ、実践しているのも特徴です。最近ですと歯科用CTやNi-Ti ファイルなどが挙げられますが、これらの使い方等もいち早く学ぶことができました。感染対策にも力を入れているため、滅菌・消毒のあり方についても大いに参考にすることができます。さらに、患者さんへの説明のために様々な種類の資料が用意されており、インフォームド・コンセントの方法や患者さんとのトラブル対策についても学ぶことが多いと思います。このようなことは、特に将来開業を考えているドクターにとって参考になるでしょう。

アップル歯科での研修中は、いくつかのセミナーにも参加させて頂けるのも利点です。外部から講師を招いて行われるセミナーでは今までに聞いたことのないお話が聞けますし、様々な観

点から歯科医療について考えさせられ、大きな刺激となることは間違いありません。また、MT コネクターという特殊な義歯を製作している技工所を併設した歯科医院である、大阪歯科センターの見学もできます。そこは、普通の歯科医院とは異なる診療形態で、チェアサイドで技工士さんが他に類を見ない義歯の製作や調整を行っているところを見学できます。常識を根本から覆すような体験ができ、私にとってその見学は大変刺激的で、大いに感銘を受けました。

以上のように、アップル歯科では他の研修施設ではできないような多くの貴重な体験ができます。歯科医師になりたての研修医は、わからないことが多くて不安でいっぱいです。私も同様でしたが、アップル歯科で研修を行っているうちに気がつけばそのような不安はほとんどなくなっていました。頼りになるドクターや優しく心強いスタッフの皆さんのサポートの下、正しい診療を身につけ、腕を磨くことができ、スピードまで上がり、その結果自信をもって診療することができるようになります。研修を終えた今、私は他の施設で研修を行ったどの研修医よりも充実した研修生活を送れたと、胸を張って言うことができます。歯科医師としての初年度は、今後の歯科医師人生を左右する重要な時期だと思えます。歯

科医師人生の最初に、歯科医療を広い視野で見つめ、歯科医師としての目標を持つということは、歯科医師として大きなアドバンテージになるでしょう。そう言った意味でも、数多くの診療をはじめとする様々な体験ができ、歯科医療に関する視野を広げることができるアップル歯科での研修は、大きな財産となりました。より良い歯科医師人生のために、最善のスタートを切ることができたと感じています。

アップル歯科での研修を終えて

2014年 大崎 晃嗣

私は H26 年度後期にアップル歯科で研修をさせて頂きました。

アップル歯科では、しっかりとした研修プログラムが組まれており、いきなり患者さんの治療を任せられるのではなく、少しずつ無理なくステップアップ出来るように考えられています。

研修は、まず最初に歯科衛生士さんをはじめとしたスタッフの方の補助として働き、スタッフの仕事を覚えるということから始まります。この時期にはスタッフの方からアップル歯科での診療の流れを教えて頂けるだけでなく、スタッフの目線で診療に携

わることで、スタッフの仕事の大変さや重要性を肌で感じることができ、スタッフの方への敬意という歯科医師として働く上で大切なことを学べます。スタッフの仕事を一通り学ばせてもらった後は、指導医の先生に付いて診療を見学し、カルテ書きといった仕事をさせてもらいます。アップル歯科ではカルテ書きは紙カルテに手書きで行うのですが、自分の手でカルテを書くことで、診療の流れや保険点数というものを無理なく効率良く理解することができ、とても勉強になります。

ある程度アップル歯科での研修に慣れてきた頃、実際に歯科医師として患者さんの診療を始めていくわけですが、この診療についても各々のレベルに合わせて症例を配当してもらえるので、少しずつ無理なく学んでいくことができますし、何かあれば指導医の先生がアドバイスをしてくれたりヘルプに入ってくれますので、安心して診療をすることができます。

大まかにこのような流れでアップル歯科の研修は進んでいくわけですが、次に、私が感じたアップル歯科の特色や良かった点を箇条書きで記していきます。

・人工歯を使って形成練習ができる

希望があれば、診療が始まる前などに人工歯を用いて形成の練習をさせてもらうことができます。特に私は手先

が器用なタイプでは無いため、模型上でいろいろと考えながら練習できたことは、とても有難いことでした。

・患者さん、ドクターがたくさんいる

アップル歯科には毎日たくさんの患者さんが来院します。そのため、いろいろな症例に接することができます。また、例えば口腔外科ドクターなど、多くのドクターが治療に携わっているため、様々な治療を見学できるだけでなく、様々な視点から治療の指導をしてもらうことができ、実に勉強になります。

・フェアな治療

アップル歯科では患者さんに対してフェアな治療を行うよう徹底されています。例えば、「レントゲン写真の撮影スイッチは必ずドクターが押す」、「実際に行っていない行為は請求しない」など、一見当たり前のように見えることですが、こういったことを当たり前に行うことはなかなか難しいものです。そういった真摯な姿勢を間近で学べることは非常に大きいと思います。

・院長先生の度量が大きい

院長の望月先生は非常に優しく、研修医にも積極的に診療を任せただけではなく、何か困ったことがあれば直ぐにフォローしてくださり、また、失敗なども笑って許して下さる度量の大きい方です。そのため、安心して研修に臨むことができます。

魅力の多いアップル歯科で歯科医師

人生のスタートを切れることは、将来的にとってもプラスになると思います。皆さんにもアップル歯科での研修を是非お勧めしたいです！

アップル歯科での研修を終えて

2014年 河野 通俊

歯科医師人生の始まりをアップル歯科で始められたことは凄く幸福な事であったなと思います。半年間の研修でしたが数多くのことを学ぶことができたと思います。具体的な研修内容としても浸潤麻酔の打ち方から抜歯の仕方まで、幅広く一つ一つ丁寧に教えていただきました。自分是不器用で要領が悪いのですがそれでも先生方は根気よく時には優しく、時には厳しく多くの内容を手取り足取り教えてくれました。個人的にはここまで手取り足取り教えてくれる研修先は聞いたことがありません。本当にありがとうございました。またそれと共に大学病院では学べない事もたくさん学びました。例えば地域医療の現場としての歯科医院としてのあるべき姿、患者さんへの対応、保険のことなど、たくさんの開業医、しかも地域で重要なポジションをしめている歯科医院でしか学べないたくさんのこと

を学びました。最後に自分自身が一番学べたことで重要なことは感謝することだだと思います。医療は基本的には一人ではできません。どんな処置一つにしてもスタッフの皆さんがいるからこそ自分が治療できるのだということ本当に思いました。それはアップル歯科医院のスタッフの皆さんに本当に献身的にサポートして頂いたことにより、本当に助けられた毎日の経験があったからです。研修医は正直言って何もできません。それでもアップル歯科医院のスタッフの皆さんは献身的に助けてくれます。そのサポートがあったからこそ何事も色々学ぶことができたとは今は本当に思います。ここまでスタッフの皆さんが助けてくれる研修先はないと思います。もしこの文章を自分の後輩の研修医が読んでいたら、アップル歯科で研修をすることは自分の歯科医師人生にとって本当に大切なことを学べる場だということを伝えたいです。半年間という短い間でしたが本当に素敵な研修先であったアップル歯科医院が懐かしいです。先生方、スタッフの皆さん本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2014年 前田 正名

平成26年度の研修医として、半年間アップル歯科で研修させていただきました。アップル歯科では多くの患者さんに触れることができ、貴重な経験ができたと思っています。来院される患者さんも多く、様々な症例に触れる機会も多くありました。色々な治療の過程を見ていく中で、治療の流れや治療する上でのポイントなどを一つ一つ学べたと思っています。保存的な治療だけではなく、外科的処置の経験は大学でもなかなか経験することが少なく、とても貴重であったと思います。また、先生方も多く治療時のフォローアップも十分なため、落ち着いて治療に臨むことができました。色々な先生方のアドバイスが聞けるため一つの治療内容から多くのことが学べたと思っています。治療における疑問点や修正点などについても熱心に指導していただき、日々充実した研修生活を送ることができました。スタッフの皆さんもやさしく、歯科医院全体が明るく診療以外にも楽しく過ごすことができました。スタッフの皆さんから学ぶことも多く、アシストや器具の滅菌や扱い方などを

丁寧に教えていただきました。アップル歯科での研修最初の2週間はスタッフの皆さんと生活することで病院全体の流れを知ることができました。そのため先生方の動きやスタッフさんの動きを知り、スムーズに治療に入っていくことができました。

アップル歯科で研修することで最も良かったと思える点は、多くの患者さんの治療を経験できたということだと思っています。歯科医師として経験も浅く研修が始まった当初は不安しかありませんでした。その不安の中でも積極的に患者さんの治療に入るように勧めていただき、しっかりとした指導をしていただきました。結果として研修を終える頃には気持ちの面で大きく治療に対する恐怖感や不安には変化がありました。研修医という歯科医師としてのスタートをこのような形で切れたことはとても意味のあることだと思います。一年間の後半は大学に戻り研修生活を送りましたが、アップル歯科での経験は大学の治療の見方も大きく変えてくれました。学生の頃に見学していた時とは違った観点から治療を見ることができるようになっていることを実感しました。そのため、大学でもより一層充実した研修生活を送れたと思っています。

これからアップル歯科で研修される先生方も充実した研修生活を送ること

ができると思います。ぜひアップル歯科で歯科医としての一步を踏み出してほしいと思います。この歯科医院の先生方はとても治療に熱心で、学ぶことも多いと思います。そのため、研修医もその流れに乗り、積極的に治療に臨んでいくべきだと思います。私もこのような素晴らしいスタートが切れたことを今後の歯科医師人生で活かしきれよう、これからも努力していきたいと考えています。また一つの歯科医院とこのような繋がりを持てたことも、とても意味のあることだと思いました。

アップル歯科での研修を終えて

2015年 齋藤 秀也

僕はアップル歯科で前期に研修をさせていただきました。北海道医療大学出身としては初めてのアップル歯科研修医でした。

北大という新しい場所、1人での複合施設での研修……。何もかもが新しい環境、新しい事ばかりで、強い決意でこの進路を決めたものの、研修が始まるまでは毎日不安ばかりでした。

自分はスタッフの方々に受け入れてもらえるのだろうか？そんな不安を抱えながらの複合施設研修スタート。最

初の2週間は、衛生士スタッフに付いて「衛生士」として仕事を学ぶ期間になります。毎日別々の衛生士さんにつかせてもらう事で自然と全ての衛生士さんと仲良くなる事ができました。スタッフの皆さんはとてもフレンドリーな方が多く、あっという間に仲良くなる事ができました。

1ヶ月が経過するといよいよドクターデビューになります。まずは浸麻、根治から始まります。そして徐々にやる事が増えていって、半年間経つ頃には保存補綴治療は一通りこなす事が出来るようになります。もちろん自信を持ってこなす、というレベルにはこの時点ではまだまだ達してはいませんが、半年前には患者さんの口腔内をほとんど触った事が無かった自分からすると、この成長は驚くべきものでした。そして、アップル歯科では常に「高速診療」というものを意識させられます。ここが大学と大きく違う点であると思います。麻拔を30分以内、3本インレーセットを30分以内、などなど、日頃からかなり診療時間について意識させられるので半年経つ頃には診療のスピードも格段に上がっています。「患者さんが治療に集中できる時間は30分が限界だから」と患者さんを気遣って治療をしていた先輩の言葉は今でもはっきりと覚えています。

また、アップル歯科では朝の診療開

始前には、マネキンを使って支台歯形成の練習をする事ができます。研修が終わってから考えてみるとこの時間はすごく有意義な時間だったと思います。北大では支台歯形成の練習をしようにも場所が遠かったり申請が必要だったり中々気軽に練習を行う事ができません。しかし、支台歯形成を行うにおいて、上達に最も重要なのはマネキンでの形成練習だと思っています。単独のプログラムの人は練習もなしに患者さんの口腔内で形成している人もいましたが、僕からするとあり得ないことだと思っています。開業医で気軽に練習できるこの時間が非常に価値のある時間でした。

総合的に見てみると、本当にここを選んで良かったと心の底から感じています。たしかに勤務時間も大学病院よりは長い為大変ではありますが、それ以上に得られるものが大きいです。院長の望月先生も本当に良い先生でした。普段は面白くて話しやすい先生、時に厳しく、でも困った時には本当に親身になって対応してくれます。アップル歯科で過ごした半年間はとてもかけがえのない時間でした。

アップル歯科での研修を終えて

2015年 齋藤 大嗣

アップル歯科では歯科医師として必要な多くの経験をする事ができました。治療としては浸潤麻酔、根管貼薬、セツト、う蝕処置、抜髄、感染根管治療、抜歯などが経験でき、たくさんの患者さんに触れることができるので、手を動かしたい人には最適な環境です。またシステムティックな研修体制であるので、段階的に治療の難易度を上げることができるため、自信が無くてもその人にあった研修スケジュールで研修することができます。

院長をはじめ、諸先生方やスタッフは優しく、親切なため、何でも聞きやすく、勉強できる環境は整っており、困った時やわからない時は上級の先生に質問でき、嫌な顔1つせず、丁寧に教えていただけます。自分のやる気次第で成長できるのです。

以上のように、本当に素晴らしい歯科医院で、研修施設としては素晴らしいです。私の歯科医師人生の中では大きく成長させていただき、懐の大きい院長にはとても感謝しています。

たくさんのことを学ばせてありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2016年 橋本 里紗

アップル歯科での研修が終わり、はや半年が経ちました。現在は関東で就職しておりますが、アップル歯科で学ばせて頂いたことが現在の診療のモットーです。

私は研修医としての1年間を前半をアップル歯科、後半を北海道大学で過ごしました。研修施設の説明会の際に院長の望月先生とお会いし、その雰囲気魅かれ、アップル歯科で研修することを即決しました。研修を終えた現在、お世辞ではなく、こちらで研修することができ本当に良かった、全員がこちらで研修するべきだ、と心からそう思います。実際に研修を受け、印象に残った4点を挙げますので、後輩の皆さんの参考になれば幸いです。

1つ目は、患者さんの満足度が非常に高い歯科医院であるという点です。来院される患者さん方は口を揃えて「良い噂しか聞かない」と仰います。どのような歯科医師・歯科医院であれば患者さんに満足して頂けるのか、これを初めに学ぶことはとても重要だと思います。

2つ目は、自分の興味のある診療は

何でも行わせて頂けた点です。「とりあえず自分でやって学んでごらん、後からフォロー出来る人はたくさんいるから」と言われたことは今でもよく覚えています。学生時代に蓄えた知識を今度は実践してみることで、新たな疑問点が多く出現し、その後の大学での見学の仕方が大きく変わりました。また、困った時にはすぐに先生方が駆けつけて下さるため、患者さんをお待たせすることなく診療が進みました。

3つ目は、半担当医制・順番制である点です。アップル歯科では基本的に様々な先生が診療にあたり、患者さんの希望があった際など状況に応じて担当となる、半担当医制をとっています。そのため、自分が出来そうな処置を選んで治療にあたり、徐々にステップアップしていくことが可能です。また、自分を希望して下さる患者さんができた時の喜びは格別であり、診療へのやる気につながります。さらに、予約制ではなく順番制であるため、時間に追われることなくゆっくり丁寧に治療を行うことが出来る点も研修医にとってはありがたいです。

4つ目は、医院の皆さんの人柄です。先生方もスタッフの皆さんも本当に魅力的で尊敬できる方々ばかりでした。医院全体としては、これも院長先生の人望のためだと思いますが、とても上手くまとまっており、アットホームな

雰囲気です。日々楽しく研修することが出来てきました。

このように、魅力溢れるアップル歯科で研修を行えたことは、私にとって最高の選択でした。すでにホームシックならぬアップルシックになっている程です。5、6年生の皆さんはこれから研修先を決めるにあたり本当に悩むと思いますが、ぜひ充実した研修生活を送ることの出来る病院を選んで下さい。

アップル歯科での研修を終えて

2017年 谷 幸憲

国家試験の勉強で臨床から遠ざかっていた研修前半で不安なことばかりでしたが、どの先生も親切に教えてくれました。いきなり難しい治療をするわけではなく、段階を踏ませて頂いて少しずつ出来ることを増やしていくことが出来ました。形成練習用の模型があるので朝診療が始まる少し前に来て、練習しました。また、予約制ではなくユニットの数も多いので患者さんに不快な思いをさせない範囲で、時間にシビアにならずに治療出来たことも大きかったです。何より患者さんの数が多いので、さまざまな治療を数多くさせて頂きました。研修をアップル歯科で

行えてよかったです。

アップル歯科での研修を終えて

2017年 中村 那月

私は研修医前半の5ヶ月半をアップル歯科で研修させて頂きました。

私がアップル歯科での研修を決めたのは、見学に行った際、当時の研修医の先生が上顎8番の抜歯をしているのを見たのが1つのきっかけでした。卒業してまだ半年もしていない1つ上の先輩が、バリバリ診療している姿が私には衝撃的で、アップル歯科でぜひ研修を行いたいと考えました。

そして実際に、アップル歯科の研修ではとにかくたくさん診療を経験させて頂きました。研修は積極的にやろうと思っただけでしたが、しかし自分とはどちらかというと消極的で苦手なことは避けてしまうので、学生時代はあまり積極的に患者さんに触れず、最低限の数だけこなして実習を終えたようなタイプの学生でした。そんな私が大きなストレスなく研修を行うことが出来たのは、アップル歯科の研修システムと、明るい雰囲気のおかげだったと思います。

アップル歯科の研修では、最初の1週

間はスタッフさんについてアシスト業務の研修を行いました。この期間で、アップル歯科での治療の流れや手順を把握することができました。次にドクターについて、ドクターの治療を見たり、カルテの記載を学びました。またこの辺りから徐々に実際の治療もするようになりました。治療はまずは浸麻からはじまり、根治、セット、CR、形成……とステップアップしていくので、変な緊張をせずに落ち着いて行うことができました。いきなり難しいことをするわけではなく、段階を踏んで出来たのがとても良かったです。毎朝の模型練習ができるのも良いところです。

またアップル歯科の先生方、スタッフの方々は皆さん明るく、そしてとても頼れる方々でした。ドクター数が多く、上の先生に相談しやすい環境なので安心して治療を行うことができますし、先生方は嫌な顔をせずに助けてくれたり、相談に乗ってくれました。スタッフの方々も、患者さんへのフォローをして下さったり、拙い研修医の治療をずっとサポートして下さいました。そして昼休みには楽しく話しながらお昼ご飯やおやつを食べたり、アイスを買に行ったり……。毎日本当に楽しく過ごさせて頂きました。

後半大学に戻ると、単独プログラムの人にはまだ形成をしたことがないという人もいて、その差を感じました。また

アップルで実際に患者さんにたくさん触れ、治療を行ったおかげで、上の先生の診療をより実践的な視点で見ることが出来ましたし、自信がついたおかげで学生時代よりも落ち着いて積極的にいけるようになり、治療をする機会を得られやすかったです。カルテ記載等も困らなかつたりと、アップルでの経験が大学の研修でも大きなプラスになりました。

このようにアップル歯科での研修は、たくさん治療をしたい人にも、ちょっと怖がりな人にも自信をもっておすすめ出来ます。

最後に院長の望月先生をはじめ、先生方、スタッフの方々、半年間貴重な研修をさせて下さり、どうもありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2017年 丸岡 春日

私は北大の矯正歯科との複合型だったので、研修でアップル歯科にお世話になったのは後期でした。アップル歯科で研修した部活の先輩が多く、以前からとても良い環境だったというお話を伺っていたので、大きな不安もなく、後期から研修に臨めました。また、前期

の北大でも患者さんが多い方ではありましたが、CR 充填や抜歯に偏っていたため、補綴処置や歯内療法など、幅広い治療をたくさん経験したいと思っていました。

アップル歯科での研修は、まず衛生士の方々についてアシスト業務を学ぶことから始まりました。スタッフさん方の業務を学びながら、アップル歯科の皆さんとコミュニケーションをとり、アップル歯科の治療の順序や、患者さんとの関わり方等、様々な事を学びました。実はこの経験がこの後の研修に止まらず、これから歯科医師として様々な歯科医院で働くうえで大切なことを学ぶ期間だったと思います。歯科医院において、衛生士の方々やスタッフの方々の力はとても大きいと感じました。

その後は望月先生をはじめとする指導医の先生方について治療についてカルテの書き方等を学びます。保険治療の決まりや流れ、保険点数などを、実際にカルテに書くことによって学んでいきました。

以上の研修を終えると、浸潤麻酔からはじまり、根管治療、修復物・補綴物の装着など、実際の患者さんに対する処置をさせてもらえるようになります。北大で前期に経験していたとはいえ、やはり最初は緊張するものですが、常に「研修医」を毎年見てきているスタッ

フの方々のアシストについてくれるので、アドバイスやフォローもしてくださり、とても心強かったです。

また、これらの研修と並行して、朝の診療前の時間を使って、ユニット上で模型や抜去歯を使って形成や根管治療の練習をしました。練習をしたら指導医の先生方にチェックを受け、なにをどう改善すべきなのかを随時指導して頂きました。これがある程度できるようになると、例えばインレー形成の患者さんが来た時に、実際にやってみようという流れになるので、練習をしてから治療に臨めるというのは気持ちの面でも余裕をもって治療にあたることができました。この様に、アップル歯科では自分の力に合わせて順番に研修を進めていけるので、実際に研修していて自分でも小さな成長を感じることができました。治療に関しては、常に上の先生方が見守ってくださっていて、分からないことがあればすぐに確認することができ、困った時はいつでも助けてくださりました。治療後はフィードバックもしてくださり、一つの治療で多くのことを学びました。この指導体制があったからこそ、安心してどんどん次のステップに挑戦できたと思います。

アップル歯科の特徴として上記の充実した研修内容に加えて、ドクターやスタッフの多さにあると思います。

様々な科から先生が来ているので、たくさん先生の先生と知り合い、幅広い治療を学ぶことができます。研修を通して多くの方々を知り合って、いろんなお話を聞いたことも、とても良かったと思います。

大学で知識を学び、免許を取って実際に治療するとなった時、たくさん患者さんを診ることで、そこから何を学び、どう自分の力にするかが大切だと私は考えているので、望月先生はじめ、たくさんの方々に支えられて研修できた5か月間はとても大きな一歩になったと思います。

研修医でたくさん経験を積みたいという方、でも少し実際に患者さんを診るのはまだ少し不安がある…という方がいたら、アップル歯科はぴったりだと思います。アップル歯科でたくさんの人と関わり、多くの治療を経験し、充実した研修医生活にしてください。

アップル歯科での研修を終えて

2017年 執行 勇気

ご指導頂いたアップル歯科すべてのスタッフの皆様、診療させて頂いた患者様に感謝しています。

初めて病院見学させて頂いたとき感じたのは、とても広く、活気があり、綺麗な病院という印象でした。スタッフの皆さんの表情も明るく、ここで研修をしたいと思いました。

そして、6ヶ月の大学病院での研修を経たのち、10月にアップル歯科での研修が始まりました。

研修が始まると、指導医の先生をはじめ、スタッフの皆様からは患者様に対する接し方、先生の診療介助などの基本的手技を一から丁寧にご指導して頂きました。

最初は、研修医という立場で学ぶことに加え、スタッフの一員として働き、認められることに必死でした。右も左も分からない状態でたくさんのご迷惑をおかけしたと思います。そのなかで、空いた時間に先輩の先生方とアイスクリームを買いに行ったり、一緒にダーツをしたり、飲みに来て行っていただきました。そのおかげで、早く病院の雰囲気に慣れることができました。

あっという間に時間が過ぎ、病院にも慣れてきたところで去らなければいけないのは非常に残念でした。

研修を終えての感想としては、アップル歯科では多くの患者さんと触れ合うことができ、実際に手を動かし多くのことを学ぶことができました。指導医の先生方はとても優しく、失敗したときや治療がうまくいかなかった時は

一緒にどのようにすればよかったのか考え、教えていただきました。このような指導を受けることによって、その期待に応えなければならぬと感じていました。その中で歯科医師としてのスキル、知識向上はもちろんのこと、現場でしか得られない知識・歯科医療を学ぶことができました。

最後に、短い期間でしたが、これからの長い歯科医としての人生の始めという大事な期間を、アップル歯科で働くことができたことに感謝しています。ここで学んだことを忘れずに、歯科医師として精進して参ります。

繰り返しになりますが、指導医の先生方をはじめ、アップル歯科のスタッフの皆さんありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2017年 葛崎 昭

アップル歯科のいいところは、言うまでもありませんが先生が素晴らしいことです。なにも出来ないはずの研修医に対し、たくさんの症例を診させて貰うだけでなく、わからないことがあれば時間を作って優しく教えてくれます。時には厳しい時もあります。ですが、全て真心を感じるものであり、私自

身、勿論先生としても尊敬していましたが、一人の人生の先輩としてとても尊敬しております。

私は少しおっちょこちょいなところがあり、調子に乗ってしまう傾向がある人間なのですが、アップル歯科の先生方はそんな私でさえも最後まで面倒を見てくれました。特に、院長は本当に懐の広い人だなあと、何度感動したかわかりません。院長は、一人一人に対し真剣に向き合っていく人であり、そこで生まれた信頼関係一つ一つがあるからこそ、今の不動の歯科医院が生まれたのではないかと、勝手ながら考えている次第であります。

私はアップル歯科における研修生活を送ることを一番にお勧め致します。

アップル歯科での研修を終えて

2018年 小木曾 哲

アップル歯科で研修をさせていただいた率直な感想として、素晴らしい経験ができて本当に良かったと思います。6年生の時、アップル歯科を研修先として選んだ自分を褒めたいです。

以下に具体的にどのような点が素晴らしかったのかを人、設備、やりがいの3つの視点から述べたいと思います。

1. 人

アップル歯科のドクター、スタッフの皆さんはとても温かく、人間関係には悩むことなく手技を身につけることに専念することができました。

また、ただ楽しくやるだけではなく、先輩ドクターから教訓など手技以外にも大切なことをたくさん学びました。

2. 設備

アップル歯科には大学病院では用いていない器具や設備が用意されており、研修医でもそれらを経験することができます。

例えば、Ni-Ti ロータリーファイルを用いた根管拡大、根管充填は教科書上では勉強していましたが、学生時代は見たこともなかったので良い経験になったと思います。

3. やりがい

アップル歯科は予約制をとっていないため、自分の担当患者は持てないと思っていました。しかし、実際は初診時から最後まで自分で責任をもって治療を行うということも経験することができました。人任せにするのではなく、自ら率先して治療計画を立て患者さんに説明することが何度もできたと思います。

以上の経験からもアップル歯科を研修先として選んだことは最高の選択だったと思います。皆さんもアップル歯科で是非研修されてみてはいかがでしょうか。

しょうか。

アップル歯科での研修を終えて

2018年 小島 遥乃

私は4月中旬からの前半の約半年間をアップル歯科で研修させていただきました。

アップル歯科の研修ではまず最初の1週間、スタッフさんについて教えてもらいながら、先生方のアシストを行います。これによってアップル歯科での治療の流れをつかむことができます。

その工程を経て、最初は上の先生方の治療を見学し、徐々に簡単な治療から経験することができます。患者数が多く、色々な症例があるため、治療しやすい部位の簡単な処置から経験できます。

先生方は気さくで話しやすい方ばかりで、分からないことがあればすぐ質問できますし、お昼休みのドクタールームも明るい雰囲気でもとても楽しいです。

このように優しく、時には厳しく教えてくださる先生方のおかげで確実にレベルアップすることができました。

また、診療時間は10時からと、それほど早くはないため、朝の空き時間を

使って顎模型を用いての形成練習を行うことができます。これも強制的にやらなければならないわけではないので、自分のモチベーションに合わせて練習することができます。形成練習後は先生に見ていただいてアドバイスをもらうこともできます。

アップル歯科での研修が始まった時には研修医になりたてで臨床にほとんど出たことがなく、右も左もわからない状態でしたが、終わる頃にはある程度の自信を持って患者さんの前に出ることができるようになりました。

このように、アップル歯科での研修は様々な症例を着実に幅広く経験でき、大変充実した内容になりました。1つの分野に偏らず、たくさんの症例を経験したい人に自信を持っておすすめできます！

最後になりますが、院長の望月先生をはじめとするドクターの方々、全然できなかった私をサポートしてくださったスタッフの方々に本当に感謝しています。ありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2018年 善徳 勇貴

私は4月から9月の半年間は北海道

大学一補綴で研修を行い、10月から2月までの半年間をアップル歯科で研修をさせて頂きました。アップル歯科は患者さんが多く、症例数も多いため、少しずつ簡単な治療からさせて頂けます。治療を行なった後も先生方にチェックをしてもらい、フィードバックしてもらうことで、次の治療の内容に活かすことができます。また、様々な診療科から多くの先生が来ているため、治療を見学したり、質問をしたり、より多角的に勉強することができました。行う治療については自分のチャレンジ次第で幅広くどんどん行うことができます。スタッフさんがアシストに入ってくれるため、安心してスムーズに治療することができ、症例によっては自分で治療計画を立て、先生方に相談することもできます。

また、歯科診療でトレンドにもなりつつある訪問診療も行って、見学もしました。診療の他にも模型実習を行って、形成練習や抜去歯を使って根管治療の練習も行ったたり、義歯専門の大阪歯科センターに大阪まで見学しに行き、義歯についても勉強できます。自分自身本当に様々な体験をすることができました。若い先生も多く、優しい先生ばかりでとても明るく良い雰囲気です。教育という観点でもとても充実している環境だと思います。私は歯科医師としてスタートするこの一年にアッ

プル歯科と関わり、研修生活を送ることができてとても良かったと思います。

アップル歯科での研修を終えて

2018年 辻 綾香

わたしは研修医後半の約5ヶ月の間アップル歯科にて研修させていただきました。

わたしがアップル歯科での研修を決めた理由は、たくさんの患者さんをみることができとても良い環境であるという評判を先輩方から聞いていたからでした。

前半の大学の研修では実際に患者さんをみることができたのは片手でかぞえきれぬほどしかなかったため10月から勤務するときはとても不安だったのですが、アップル歯科の先生は皆優しくとても親切に教えてくださったのでその不安もだんだんなくなっていきました。

アップル歯科では最初は見学から始まり、アシストを挟み次第にCR充填や歯内療法などとスキルアップしていくシステムがあります。

誰もがそうだと思いますが、初めて抜髄などの治療をするときはとても不安だと思います。アップル歯科では、

優しいドクターの方々が隣で見ているからやっごらんと背中を押してくださったおかげで少しずつできる治療が増えていきました。

また、ドクターの方々は治療途中でわからないことや不安なことがあるときに質問をするとすぐ親身になって答えてくださいました。ドクターの人数も多く、また口腔外科や今年からは小児歯科の医局の先生もいらっシャっているため数多くの貴重な意見をいただけるのもとてもオススメなポイントです。

そして、常に研修医を毎年見てきているベテランスタッフの方々がアシストについてくださり、アドバイスや手厚いフォローをしていただくことができたのでとても心強かったです。

この半年間を考えるととても恵まれた環境で研修をすることができ、とても感謝をしています。最後になりましたが院長の望月先生をはじめ、先生方、スタッフの方々、貴重な研修期間を送らせていただきどうもありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2019年 土田 仁

はじめに、ご指導して頂いた先生方、またスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

アップル歯科のいいところは、たくさんあります。

それは、とにかく患者さんに触れさせてもらえることです。アップル歯科には毎日多くの患者さんが来院されます。多いだけに症例も様々です。

私は、前期複合で研修医としても日が浅く、不安や恐怖で積極的に診療することができませんでした。

それでも、先生方が「これやってみようか」と声をかけていただき、少しずつ治療ができるようになりました。日が経つにつれ、いつしか積極的に患者さんを診るようになり、1日に診る患者さんの数も多くなっていきました。「患者に触れる、たくさん診る」その経験が不安や恐怖心を少しずつ和らぎ、それが自信につながっていく感覚がはっきりと実感できました。研修医にとって、それはとても大きなことで貴重な経験ができたと思っております。

他にもアップル歯科のいいところは、なんといっても先生方やスタッフさん

がとても優しくフレンドリーで素晴らしいところです。

私は、北大出身ではなく、新しい環境でちゃんとやっていけるのだろうかとか不安がありました。

しかし、実際に接してみると「なんでこんな心配をしていたのだろうか」と笑ってしまうぐらい、すぐに馴染むことができました。

治療のときは、1つずつポイントや注意すべき点を丁寧に教えていただけます。また、わからないときは、どんなに忙しい時でも時間を作って見てくださったり、アドバイスをしてくれます。

もちろん、優しいだけでなく、時には愛のある喝をさせていただきます。

また、先生は常勤の先生以外にもバイトの先生方がたくさんいらっしゃいます。矯正、口腔外科、小児、保存と色々な科の先生方の専門的な治療を見ることができたり、先生方それぞれの考え方や治療方針を学ぶことができ、とても勉強になりました。

そして、忘れてはいけないのがスタッフさんの存在です。アップル歯科には先生同様に多くのスタッフさんがいます。スタッフの方々には本当にお世話になりました。いつも隣でサポートしてくれたり、声をかけていただいたり何度も助けていただきました。治療中、歯科医師では気づかないよう

なことをしっかり見ていてアドバイスをしてくれます。

私は、アップル歯科で研修させていただき本当に良かったと思います。研修中はいいことだけでなく、つらいときもありました。治療中うまくいかなかった、心が折れそうな時も多々ありました。そんな時は、先生方が飲みにつれて行ってくれたり、どこがよくなかったのか一緒に考えてくれます。アップル歯科はそんな優しい方々から成り立っている歯科医院です。

アップル歯科での研修はとても充実しており、とても楽しかったです。

私は将来、開業したいと考えております。アップル歯科みたいな優しく活気のある歯科医院にすることが目標です。アップル歯科は望月院長の人柄の良さに惹かれて素晴らしい先生方やスタッフさんが集まってくるのだろうと、私なりに考えております。

これから、研修医になり複合先を考えてる方々にアップル歯科はとてもおすすめです。アップル歯科の良さはもう十分に伝わっていると思います。大学で専門分野を学ぶ事はとても大切な事です。しかし、大学では学べないことがたくさんあります。ぜひ、それを学んでほしいと思います。

最後になりますが、私はたくさんのご迷惑をおかけしたと思います。まだまだ未熟者ですが、目標に近づけるよ

う日々精進していく所存です。お世話になった先生方やスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2019年 遠山 晏梨

私は研修医として前半をアップル歯科、後半を北海道大学で研修させていただきました。私がアップル歯科を選んだ理由は模型での形成練習が出来ることと、沢山の患者さんを診療できると先輩に聞いたからです。研修医で半年間国試の勉強ばかりで手を動かしていなかったのも、何も出来ず、わからない事も多いので不安が大きかったのですが、アップル歯科では、研修のカリキュラムがしっかりしており、1週間は衛生士スタッフに付いて衛生士業務を学びながら、物品の場所や片付けの仕方のみならず、上の先生の治療を見学して治療の流れや説明の仕方などを学ぶことができます。その後はSRPの浸潤麻酔から始まり、根幹治療、CR、インレー形成、麻抜、補綴物除去、感染根幹治療、Br形成、上顎8番抜歯など簡単な事から、徐々に難しい処置まで自分のペースで学ばせていただきました。そしてアップル歯科は歯科医師の人数

が多いので、治療時に少しでも不安があれば、すぐに上の先生方にアドバイスやサポートを受ける事ができ、本当に勉強になりました。上の先生方はいつ質問しても皆さん優しく丁寧に教えてくださり、またお昼休みの時も沢山話しかけてくださるので、毎日楽しく充実した研修生活を送る事ができました。またスタッフの皆さんもいつもアシスト時にスムーズに治療ができるようにフォローしてくださり、とても心強かったです。今まで大学ではあまりアシストされた事がなかったので、大学は時間をかけて治療することが多いのですが、一般歯科では患者さんを長い時間待たせてしまう事は患者さんの満足度にも繋がり、信頼関係にも繋がるため、丁寧に治療する事は勿論のこと、スムーズに治療する事が重要で、アシストの重要さも学びました。そしてアップル歯科では火曜日と木曜日に訪問診療を行っていて、それにも同行させていただき、道具が少ない上での義歯作製や調整、齲蝕処置や口腔ケア、嚥下機能の検査など見学させていただき訪問診療のことも学ぶ事ができました。また、大阪歯科センターに見学に行かせていただき、咬合調整のやり方を自分が習ってきた教科書に載っている事以外も教えていただき大変貴重な経験をさせていただきました。そして年に数回勉強会もあり、知識、技術の向上を

し続けていく姿勢に感銘を受けました。

半年間という短い期間でしたが、将来はこのアップル歯科で学んだことを活かして、歯科医院の他の先生、スタッフの方との連携のとれた治療を行い、向上心を忘れずに、地域の人に寄り添う事の出来る歯科医師を目指したいと思います。

望月院長をはじめとした先生方、スタッフの皆さんアップルで研修出来て本当に良かったです。半年間誠にありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2019年 奈邊 祐加

私は4月中旬から9月末までの半年間アップル歯科でお世話になりました。複合の研修先としてアップル歯科を選んだ理由は、五年生のときの院外実習の見学にて、一年目の研修医の先生が一人で診療しているのを見て感銘を受けたからです。ここで研修をすればたくさんのことを経験させてもらい自分の同期よりも早く技術を身につけられるのではないかと思います。

実際に半年間の研修を終えて、研修前に自分が思い描いていたよりもかなりの経験をさせてもらいました。はじ

めの頃は何もわからない、何もできない状態で不安ばかりでした。しかし、段階を追って一つずつステップアップしていけるので、だんだんできるようになり、常にモチベーションをもって研修を進めることができました。また、担当医制ではないので、幅広く自分がやってみたい治療をどんどん経験させてもらえました。何よりも先生方、スタッフさん方がとても優しく、院内の雰囲気もなごやかでのびのび診療させてもらったこともアップル歯科で研修してよかったと思う事のひとつです。分からないことがあればすぐ質問できる環境で、できないことがあればアドバイスをいただくことも多々あり大変勉強になりました。

アップル歯科には、北大の口腔外科の先生がバイトにきている日があるので、親不知の抜歯も経験できました。術前からヘーベルの力のかけ方などを教えて頂き、術中も気にかけて様子を見に来てくれます。自分が歯を抜くのは不安ではありましたが、とても心強い環境で治療に挑むことができました。

これらの診療中の研修と並行して、診療前には模型で練習もさせてもらえます。自分のペースで形成練習をし、先生にアドバイスをいただくことができたので、実際に患者さんの歯を削る時には、より自信をもって診療することができました。

アップル歯科で学んだことを生かし、今後も精進して参りたいと思います。望月先生をはじめ、先生方、スタッフの方々半年間ご指導いただきありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2019年 阿部 未来

北大複合型研修医を選択し、アップル歯科には後半でお世話になりました。

複合型を選択したのは、学生の時から大学でしか歯科診療を見ていないため、一般診療に触れることで高頻度診療を学ぶことができると思ったこと、一般歯科では大学より手を動かすことができ、歯科医師としてよりステップアップしていけると思ったからです。

アップル歯科は予約制ではなく、朝からたくさんの患者さんが並んでいて、スタッフさんの数も多い、大きく忙しい開業医さんでした。アップル歯科での研修の初日、先生がた、スタッフの方々の仕事・治療は素早く、その中でも患者さんが良い治療を選択・納得できるように説明をしており、自分の中で働いていけるか少し不安でした。

研修が始まるとまずは衛生士さんについて一緒に衛生士さんの仕事を覚え

ました。治療が早くやることもたくさんあり、スタッフさんのありがたさ・素晴らしさを感じました。また、これによってスタッフさんたちとの距離が近づき、アップル歯科の明るい雰囲気、そして治療の進め方を覚えていくことができ、気づいたら不安より、もっともっとできることを増やしていきたいという気持ちでいっぱいになっていました。

朝は練習用に模型を買っていただき、形成を見ていただくことができ、患者さんに実際に治療をする前にある程度できるようにすることができ、緊張も和らぎとてもよかったです。

その後からは見学から始まり、簡単な治療から徐々にステップアップするように治療をしていくことができたので不安が少なく治療をしていくことができました。

院長先生はじめ、先生方、スタッフの方々はみんな親切で忙しい中でもわからないこと、治療方針・治療内容について教えていただいたりアドバイスしていただいたりして心強かったです。口腔外科や矯正、小児など様々な専門性を持った先生方の一般歯科での治療も学ぶことができ、大変勉強になりました。

まだまだ自分だけでできることは少ないけれどこの半年間で、アップル歯科に来る前に思っていた以上に、患者さんのことを考え、方針を立て、治療を

していくことができるようになりました。

開業医さんの大変さを感じながら、短い時間の中での技術力、コミュニケーション力を学ばせていただき、とても充実した半年間でした。

アップル歯科での研修を終えて

2019年 大澤 杏子

私は北海道大学病院との複合型として、10月からお世話になりました。

アップル歯科での研修を考えたきっかけは、先輩から「沢山やらせてもらえる」とのお話を伺ったことです。私はそれまで治療経験がほとんどなかったので、このままではまずい！と思い、歯科医師1年目としての期間を有意義なものにするため、研修先として志望致しました。また、見学に伺った際に院長先生の明るい人柄に惹かれたことも、大きな理由の1つでした。

研修初週は歯科衛生士さんのお仕事を学ぶことから始まりました。新しい環境で大変緊張しておりましたが、丁寧に教えていただき、すぐに安心致しました。2週目からは上の先生方の診療の見学・アシストを通して治療の流れやカルテの書き方などを学び、そして

いよいよ自ら診療に入ることとなりました。

当初はカルテに記載されている次回予定の通りに治療を行うことで精一杯でしたが、次第に、問診し、パノラマやデンタルを見て判断し、治療計画を立てることを心がけることができるようになりました。また、治療の経験だけでなく、患者さんの主訴や希望を聞き出すこと、分かりやすく治療方法の説明をすることも、1日に多くの患者さんが来院するアップル歯科でこそ実践できたことだと思います。

判断に困った時は、必ず上の先生方がフォローして下さいます。

診療に対し臆病であった私でしたが、とにかく経験することで患者さんに関わることに少し自信を持てるようになりました。色々失敗もありましたが、先生方やスタッフの皆様に支えて頂き、研修を終えた今は、歯科医師として良いスタートを切ることができたと感じています。

最後に、何よりも、アップル歯科は暖かく優しいです！私は、研修先で悩んでいる方に、アップル歯科を強くお勧め致します。

アップル歯科での研修を終えて

2019年 土居 芽吹

私は令和1年後期に10月よりアップル歯科にて半年間研修をさせて頂きました。前期の北大での研修ではあまり診療する機会がなく10月から不安がたくさんありましたが、アップル歯科では望月先生を始め、先生方、スタッフさんの手厚く優しい指導のもと、充実した研修生活をおくることができたと思っています。始めはスタッフさんの補助として働き、スタッフさんから診療の流れを教えて頂きます。そして慣れてきた頃に徐々に治療を始めていく形になります。実際に治療させていただける機会が多く、治療した後で指導して頂いた先生と疑問点、修正点などをフィードバックしていくことで次の治療につなげることができます。またアップル歯科は来院される患者さんがとても多く、治療する中で分からないことや自分の知識不足など気づける部分がとても多く、歯科の奥深さや難しさ、そしてやりがいを日々感じて治療することができたと感じております。半年間終わってみて振り返ると、治療に対する緊張や不安にはかなり大きな変化や成長がありました。また、自分が

どんな歯科医師になりたいかなど、将来やりたいことも研修を通して気づくことができました。大学に戻ってからも、治療の見方が大きく変わり、これはアップル歯科での経験のおかげだと思っております。アップル歯科は研修医でたくさんの経験を積みたいという方、治療したいが少し不安があるという方には自信を持ってお勧めできます。最後になりますが、望月先生を始めとすご指導して下さった先生方、スタッフの方々、半年間とても貴重な研修をさせていただき本当にありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2020年 石川 奈津子

アップル歯科での研修のメリットは、何より「手を動かせること」です。手を動かす・実践して学べる環境は複合型ならではのメリットですが、アップル歯科は患者数が多い、症例数が多く、小児や口外の専門医もいるため勉強や経験に偏りが無い、担当制ではない、自主練習が行えるなど研修する環境がとても充実しているため、次年度に就職を予定している人にはうってつけだと思えます。

学生実習以来の臨床現場はとても不安だと思いますが、ドクター含めスタッフはとても親切な方々ばかりです。コミュニケーションに苦手意識がある方でも質問等気軽に聞けますし、失敗しても優しく指導してもらえます。また、治療段階ごとに必ず先生からのチェックをもらえるので安心して治療を進めることができます。

私は朝8時から朝礼が始まる前までの約1時間、模型を使った自主練習を行いました。練習した人工歯を指導医に見てもらい、評価してもらいながら練習しました。模型や人工歯は支給してもらえるので、たくさん練習させていただきました。

診療は、最初は見学・アシストから始まり、自分の実力に合わせて段階を踏んで実践していきます。私は半年間で、C処置、抜髄、感染根管治療、In形成、コア形成、支台歯形成（Br含む）、補綴物の合着、義歯製作・調整、抜歯、その他小児の歯科治療と偏りなく経験できたと思います。またカルテの入力は、保険診療の知識をその都度教わりながらチェックしていただきました。

アップル歯科は平日土日関係なく患者が多いので、忙しい中治療のチェックをもらいに声をかけるのが申し訳ない気持ちでしたが、優しい方ばかりで嫌な顔一つせず対応していただいたのは

本当に有り難かったです。

臨床現場は久しぶりで右も左も分からない状態からの研修でしたが、院長をはじめとした指導医の先生や先輩ドクターに丁寧に教えていただき、またスタッフの皆さんからも親切にしてくださいました。私はコミュニケーションが苦手でもとても不安でしたが、院長先生のご配慮もあり、無事に研修を終えられたこと本当に感謝しています。

今年は新型コロナウイルスが猛威を振るい、すべてが異例で異様な状況でしたが、ほぼ例年通りに研修を行うことができ、また訪問診療に同行させていただけた事は北大では出来ない本当に貴重な経験でした。まもなく研修修了を迎えますが、自信を持って診療できる気持ちを持てたのは、アップル歯科で経験した事が糧となっているからです。

コロナ禍で大変な状況の中、恵まれた環境で研修できたこと重ねて感謝申し上げます。

望月先生をはじめ、先生方、スタッフの皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2020年 松田 捺美

私は研修医の前半をアップル歯科で研修させていただきました。

私がアップル歯科での研修を決めたのは、たくさんの症例に自ら触れることができる環境が整っているなど感じたためです。学生時代の心残りとして、患者さんにほとんど触れることができなかったことにより、先生方から治療のポイントなどを教えてもらってもイメージがあまり湧かず、なかなか自分のものにすることができなかったということがありました。そのため、研修の前半にアップル歯科で様々な症例を経験し、後半の北大病院での見学がメインの研修で充実させた時間を過ごせるようにしたいと考え、アップル歯科での研修を決めました。

研修を終えてみて、アップル歯科で研修をして本当によかったと思いました。理由を二つ述べさせていただきます。理由を二つ述べさせていただきます。

一つ目の理由としては、研修医を受け入れることに慣れている医院のため、研修医はどの治療もまともに行うことができないう理解してくれていることです。そのため、アシストについている衛生士さんが、「先生、〇〇使います

か?」のように、その場で使うと良い器具をそれとなく教えてくれたり、自分が処置したあとにお願いすれば、上の先生が確認をしてくれたため、何が改善点なのかを毎回確認して次ぎの治療に生かすことができました。

二つ目は、スタッフの皆さんがとても優しいということです。スタッフの皆さんは研修医の私たちにとても気を遣ってくれて、半年しかいない私たちをスタッフの一員として受け入れてくださいました。そのおかげで毎日とても楽しく通い続けることができました。そのスタッフの皆さんと研修が終わった今でも、交流を持ち続けていられることが本当に嬉しく、アップル歯科で研修をして良かったなと思ってます。

最期になりますが院長の望月先生をはじめ、歯科医師の先生方とスタッフの皆さん、半年間大変お世話になりありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2020年 小石 桃子

私は10月から2月下旬の約5か月弱の間、アップル歯科で研修させていただきました。私がアップル歯科での研修を選んだ理由は、先生の数が多く、口腔外科や矯正、小児など幅広い分野の先生

が来ていること、数多くの治療を経験させてもらえること、医院の雰囲気が良いこと、患者さんが多いこと、設備が整っていることなどがあげられます。前半は北大の矯正歯科での研修がメインで、一般歯科の治療はほとんど行わなかったため、後半では一般歯科の勉強をしっかりとさせていただくつもりで、アップル歯科での研修に挑みました。

アップル歯科では、前評判通り、沢山の治療を経験させて頂きました。はじめは衛生士さんについてアシスト業を学び、次週からは先生方のアシストをしながら治療の見学を行います。ここで治療手順や使用する器具、レントゲンの撮影方法、患者さんへの説明や声掛けの仕方、カルテの書き方、保険点数などを学んでいきます。その後、浸潤麻酔の実習を行い、SRPの浸麻から患者さんに行っていきます。続いて、補綴物SET、根治、根充、CR、In・支台歯形成、麻抜、感根という順に簡単な治療から徐々に診ていきます。はじめは、緊張と不安のまま行っていくのですが、ベテラン衛生士さん方がアシストについてくださいますし、わからなければすぐに先生がたが優しく、時には厳しく教えてくださるので、とても心強いです。練習するための模型もあるので、しっかり自主練習も積んでから患者さんの治療を行えます。

患者さんの数も多いので、様々な症

例の治療を経験することが出来ました。模型とは違い、患者さんそれぞれの口腔内に個性があるため、同じ歯の治療でも少しずつ違います。また頬粘膜の圧排の仕方などはやはり患者さんの口の中で治療を行わないとわからなかったと思います。先生方も沢山いるので、色々な治療方法、意見を聞くことができました。私の治療のフィードバックも行ってくださるので、改善点や前回と比較して良くなった点などがわかり、大変勉強になりましたし、モチベーションも維持できました。自分で患者さんを診て、改めて治療途中での声掛けの大切さ、衛生士さんとのコミュニケーションの重要さに気付きました。また治療時間が短ければ短いほど、患者さんにとっては良く、自分の治療速度の遅さを痛感しました。

後半の研修医は私一人で、始まる前はとても心細く不安だったのですが、優しい先生方、スタッフさんが多く、とても良い環境で研修させていただくことができました。初めて行うことも多く、且つ診療時間が長かったので、大変だと感じることもありましたが、その分、本当にたくさんの経験をさせていただき、とても勉強になりました。私はどちらかというと、自分から進んで治療をどんどん行っていけるタイプではないので、半ば強制的に治療をやらせていただける環境はとてもよかったです

と思います。恵まれた環境で研修ができました。治療が不安だけれど、不安を払拭するためには、手を動かし経験を積むことが一番の近道だと感じました。一年目から手を動かして色々な経験を積みたい方におすすめです！

最後になりますが、院長の望月先生をはじめとする先生方、スタッフの皆様、何もできなかった私に手を動かす機会をたくさん与えて下さり、教えて下さり、どうもありがとうございました。本当に充実した研修でした。ここでの経験を生かせるよう、これからも精進していこうと思います。

アップル歯科での研修を終えて

2021年 トゥアソン さらに私は研修1年間の前半の複合先としてアップル歯科を選ばせて頂きましたが、研修を終えた今、自分がした選択は本当に正しかったと自信を持って言うことができます。

アップル歯科はまず、ドクターもスタッフも優しく非常に研修しやすい環境です。ドクター全員が本当に親切で面倒見良く、治療に関してわからないことがあればその都度教えてくださり、治療を終えた後にはフィードバックも

しっかりしてくださいませ。また、治療が怖くて少し勇気が出ない時があっても優しく背中を押してくださいませ。そのおかげで私自身も気づけば自ら進んで色々な治療に挑戦することができるようになっていました。院長である望月先生には個別に進路などの相談にも乗って頂き大変ありがたかったです。スタッフの方々は、まだまだ未熟な研修医の治療にもいつも温かくサポートしてくださいませました。何か困ったり必要なことがあったりする時にはすぐに気づいて手助けしてくださるため、いつも安心して治療に臨むことができました。

そして、アップル歯科は治療に挑戦できる機会が非常に多い環境です。準備・アシスト・片付けを一通り覚えたら簡単な治療から始まり、徐々に段階を上げて様々な治療に挑戦することができますようになります。見て学ぶことに加えて、実際に手を動かしてみても気づけたことは非常にたくさんありました。前半アップル歯科で自分の頭と手を使いながら何度も治療に携わったことで、自分が何をわかっていなかったのか、どんな知識が不足していたのかがより明確になり、そのおかげで後半大学病院に戻ってからは見学の際に吸収できるものが以前よりも更に増えたと感じています。研修の早い段階で臨床的な視点を持てるようになったこと

は今後勉強していく上での大きな財産になったと思います。

このように恵まれた環境で5ヶ月間研修をさせて頂けて本当に感謝しています。もし研修先で悩んでいる方がいれば、アップル歯科を選択肢に入れることを強くお勧めします。ぜひ一度足を運んでみてください。

最後に院長の望月先生をはじめとする、ドクター・スタッフの方々大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

アップル歯科での研修を終えて

2021年 久恒 悠明

研修先にアップル歯科を選んで本当に良かったと思います。とても充実した半年間を過ごせました。

六年生の春先に研修先を探すため何か歯科医院に見学に行きましたが、手を動かせる場所にしようかと漠然と考えていた自分には正直どこの歯科医院がよいか分かっていませんでした。アップルで研修を終えた先輩からおすすめされたのと、悪い噂はないし上の先生方が優しそうということでアップル歯科を選びましたが、これが大正解でした。

まず、先輩のドクター方が素晴らしいです。困ったときはどのドクターも真摯に対応してくれますし、優しく丁寧に教えていただきました。とても簡単な処置もできなかった自分にその処置のコツや自分ならこのように対応するなどフォローアップをしていただきました。勉強になりますし、そのおかげで治療に対しての恐怖心が減りました。

先輩方がいるので安心して診療できたと思います。後ろ盾があるのとないのでは心の持ちようは大きく違うと思います。のびのび研修させていただきました。

スタッフさんも素敵な方ばかりです。長年研修医施設ということもあり研修医の扱いに慣れていて、よくサポートしていただきました。優しい方が多いので人間関係に悩まずアットホームな環境で研修できたのもスタッフさんあってのことだと感じております。

また、とても流行っている歯科医院なのでたくさんの患者さんが来院されます。ある分野に偏ることなくいろいろな症例を経験できるのも強みかと思えます。そのなかで自分ができる範囲から積極的にやらせてもらいました。間違いなく他の研修医先よりも治療はやらせていただけたと思います。

以上のように、アップル歯科では様々な経験ができますし、人間関係含めとても充実した環境であることは間

違いないです。研修医の一年間は今後の歯科医師人生において大事な一年間だと言われていますが、自信をもって皆さんにおすすめできます。迷われている方はまず見学に行ってみてください。

アップル歯科での研修を終えて

2021年 齊藤 祐太郎

自分は前期の研修医として約半年間アップル歯科でお世話になり、研修の総括を一言で言うとパンパないです。控えめに言っても星5つです。では自分がそう感じた理由を大きく3つに分けて以下に述べたいと思います

1. 機会

他の先輩方が書かれている様に基本的に治療全般なんでも経験できます。例え失敗しても先輩のドクターがフォローしてくれるのでのびのびとプレーできます。また分からないことがあってもなんでも聞ける雰囲気があるのでどんどん知識をブラッシュアップできます。こんなに治療をやらしてくれる研修先は聞いたことがなく研修医明けの段階で一步抜き出た存在になれることは間違いないです。やる気さえあれば様々なチャンスを拾うことができ

ます。

2. 環境

朝練で形成練習をタダで何回もでき、出来栄を評価してもらえてるのでどんどん上手くなりますし、患者数特に驚いたのが新患の患者さんが多いので治療計画を立てたり患者さんにどうやったら信頼関係を気付けるかなどレベルの高いことを学べる環境です。

3. スタッフ

望月先生の懐が深いのに加えスタッフさんの研修医への理解度が高いので萎縮せず治療ができます。経験が浅いので治療時間がかかりすぎたりすることが多々あり迷惑をかけてしまうこともあります。暖かく見守ってくれるため最後まで治療をやり切ることができます。失敗からしか人は学ばないと思うので失敗を許される環境はありがたかったです。

まだまだ詳細に書けば色々ありますが一度見学に来て雰囲気を知ればここはえげつないなと皆さん思うはず。最後に非常に成長させてもらったアップル歯科に感謝しきれないのと同時に拙い文章でしたがアップル歯科を研修先に選ぶ何かの足しになればと思います。

アップル歯科での研修を終えて

2021年 中村 偉大

まずアップル歯科の1番いいなと思ったところ、何より歯科の雰囲気がとてもいいところだと思いました。

研修医にはもちろん、患者さんに対しても、ドクター、衛生士さん、みなさん優しくとても居心地が良かったです。

また自分がやれると思う症例を選び、厳しかったら先生に聞いて助言してもらえたり、やってもらえたりして、徐々にステップアップできる場所だなと感じました。

嫌だと思ったところは特にありません。

JR止まった時行くのが大変だったり、医院が人気なので終わる時間が20時越えたりするときにしばしばあるのがきついと思いましたが、慣れたら大丈夫でした。

アップルで学んだことを活かして、4月からも頑張りたいと思います！

アップル歯科での研修を終えて

2021年 田村 千景

アップル歯科での研修では、研修システムが整っていることが1番印象的でした。

模型での形成練習を自由に行えること、簡単ものから段階的に仕事や治療を与えられていくことなど、卒業して1年目で不安でいっぱい私にとっては非常に心強かったです。

また、一日に来院される患者さんが多いため多くの症例に触れることができました。

ユニットも開けているため、見学も自由にしやすく多くの先生方の治療や考え方を学ぶことができました。

様々な専門の先生方がいることから、分からないことがあればどんな分野でも解決してくれるという面でも安心して日々の診療を行うことができました。

そして、とにかく先生方・スタッフさんが明るく優しいため、何でも質問をしやすい環境でした。患者さんに対しても親切丁寧だったため、技術面だけでなく歯科医師として必要な人間性も深く学ぶことができました。

本当にアップル歯科で研修を行うことが出来て良かったと思っています。

アップル歯科での研修を終えて

2022年 西倉 一矢

自分は研修医の一年間の内、前半をアップル歯科で、後半を北大で過ごさせて頂きました。

CBT・OSCEが終わり、臨床実習が始まってからは“大学卒業後、自分は歯科医師としてやっていけるのか”という疑問が常にありました。臨床実習が進むにつれて、自分の手の動かなさや学生のうちに出来ることの少なさを強く意識するようになり、卒後研修では手を動かせる、経験を積める場所を探しました。

アップル歯科は北大からの研修医が多く、人伝てに聞く話や実際に見学したところ自分にとってぴったりの研修先だと思い、6年生で見学に行ったその日にアップル歯科で研修したい、と望月先生にお話しさせて頂いたのを覚えています。

実際に研修が始まったのは5月のGW半ばで、連休の中日に患者さんがたくさんいる中のスタートでした。期待していた以上の患者さんの多さに、必至にアシスト業務を覚えながらここでも十分な経験を積めるだろうと考えていました。

アシスト業務を覚え、先生方の治療

をアシストしながら見学させて頂き、少しずつ出来ることが増えていきました。SRP 前の浸潤麻酔に始まり補綴物の調整やセット、CR、貼薬交換から根治をはじめ最終的に抜髄から根充、コア・クラウンまで一通り経験した患者さんもいました。P や乳歯から直立した智歯の抜歯まで経験出来、他にも義歯作成の一部や調整、訪問歯科への同行なども経験しました。突然難しいことをするのではなく、やれそうなこと少しずつ振ってもらうのでステップアップしやすい環境でした。わからないとき、詰まってしまったときはいつでも相談できる環境だったので安心して治療を行うことが出来ました。また、模型歯で形成練習を行ったり抜去歯で抜髄の練習を行ったりと練習できる環境も十分に整っていると思います。カルテ入力を自分で行うので、保険診療の流れを自然に覚えることが出来ます。

上記のようにアップル歯科ではいわゆる高頻度治療をかなり多く経験することが出来ました。また、一つの歯科医院としてかなり大きく、在籍している先生方も多いため、自分で手を動かすだけでなく見学する症例もかなり幅が広がったと思います。一般歯科だけでなく、口腔外科・小児歯科・矯正・インプラント・歯周外科…北大から専門の先生が来ている分野もあり、興味のある症例は積極的に見学させて頂くこ

とも出来ました。

このように見学も実践も幅広く行う事が出来る研修生活でしたが、もう一つ特徴的なこととして、研修医が診る患者さんは予約時間がはっきり決まっていなかったことがあると思います。もちろん限度はありますが、覚えはじめの頃に時間に追われて焦ることがないのはとてもありがたかったです。また、患者さんに納得してもらえるまで話す事が出来るので、先生方をお手本にしながら患者さんとのコミュニケーションの取り方を学び実践することが出来ました。研修医が終わったばかりですが、患者さんと話すことに全く苦手意識がないのは間違いなくここでの経験が活きていると思います。

経験できる内容の量・多様性、困ったときに頼りになる先生方、時間制限の少なさとここまででもかなりおすすめできる要素が多いのですが、アップル歯科での研修で何よりありがたかったのは職場の雰囲気良さです。先生方はもちろんのこと、衛生士さんや他のスタッフさん含めて皆さんにとっても良くして頂き、治療が上手くいかなくて落ち込んだことはありましたが人間関係のことで悩むことは研修の間一度もありませんでした。

大学に戻ってからは自分の専攻した科が特殊だったことも併せてほとんど歯科治療を行うことがありませんでし

た。現在一般歯科で勤務しておりまだ学ぶことの多い日々ですが、アップル歯科での経験があったからこそ戸惑うことなく日々の診療に臨んでいると思います。自分が歯科医師としてやって行けそうだと思うようになったのはここでの研修経験が一番大きいです。

ここまで自分の経験を書き連ねてきましたが、将来一般歯科診療に携わることが少しでもあるならアップル歯科は間違いなくおすすめできる研修先だと思います。もし悩んでいるのであれば、一度実際に見学してみることをおすすめします。ここまで読んで頂きありがとうございました。

自分の経験が少しでも研修先を選択する際の参考になればとても嬉しいです。

アップル歯科見学について

本日、アップル歯科説明会に参加した方へ

今日の説明会はいかがでしたか？

- ・ 当院の研修医受入れ人数は2人です。(前半1人 後半1人)
- ・ できれば、明日から研修医採用試験までに見学に来てください！
- ・ 1次募集期間は、研修医採用試験の前日までに研修したい旨をお伝えください。
今日でも、口頭でも、メールでも構いません。
- ・ エントリーシートをメールしますので、履歴書と一緒に送付ください。
- ・ 採用は面接による選考となります。

早めに決定したいので、なるべく早く検討し決定してもらえると助かります。よろしくお願ひします。

尚、希望者が満たない場合は、マッチング書類提出まで、受け付けていきますので、期限が切れても見学の問い合わせください。

アップル歯科院長 望月俊男

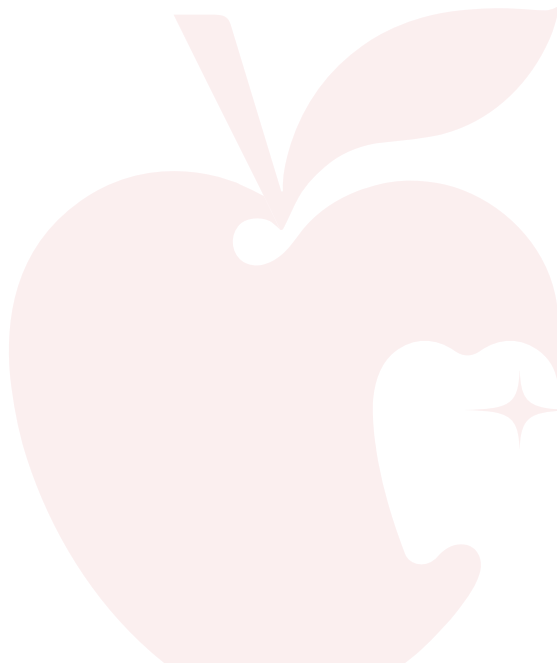
ご質問がございましたら、下記までご連絡ください。

〒 069-0813 北海道江別市野幌町 50-37

Tel 011-385-8822

アップル歯科 望月宛て

PC アドレス motimotimotimotimoti@jade.dti.ne.jp



アップル歯科広報誌

「研修のすすめ」

発行日 2023年7月2日

編集 「研修のすすめ」編集委員会

発行 アップル歯科

江別市野幌町50-37

<http://www.apple-dent.com/>

印刷 株式会社 北診印刷

電話 011-818-7770



医療法人社団 真俊会



Apple
Dental Clinic

アップル歯科

〒069-0813 江別市野幌町50-20
TEL (011) 385-8822
FAX (011) 385-3009

高砂歯科

TAKASAGO DENTAL CLINIC

〒067-0064 江別市野幌町464-1
TEL (011) 391-0607